

昭和61年度大学入学者選抜 共通第1次学力試験

受験案内

出願期間 昭和60年10月30日(水)～11月8日(金)

試験期日 昭和61年1月25日(土)・26日(日)

大学入試センター

(この「受験案内」は第2次試験が終了するまで必要に
なることがあるので、紛失しないよう注意すること。)

受験生諸君へ

共通第1次学力試験と第2次試験の組合せによる国公立大学の入学者選抜制度は、8回目を迎えることになりました。

この入試制度は、高等学校における教育をできるだけ尊重しながら、受験生諸君の能力・適性をいろいろな角度から総合的に評価しようとする考え方を基本にしています。まず、全国公立大学と大学入試センターが協力して行う共通第1次学力試験で、大学教育に必要な基礎学力を備えているかどうかを高等学校の段階における一般的・基礎的な学習の達成の程度を見ることにより判定し、次いで各大学が行う第2次試験で、それぞれの学部・学科等の専攻に応じて重視される能力・適性を見ようとしています。すなわち、共通第1次学力試験は、各大学・学部の入学試験の一部であって、第2次試験と高等学校調査書などが総合され、初めてそれぞれの大学の入学試験となるものです。

大学入試センターでは、上に述べた共通第1次学力試験の目的に沿って、全国立大学の全面的な協力の下に、より適正な試験問題の作成に当たるとともに、これを公正、正確かつ円滑に行うための努力を重ねており、過去の実施結果や当センターの研究部の研究成果もこれらに生かすようにしています。

この「受験案内」は、共通第1次学力試験の仕組みと、この試験を受験しようとするときの具体的手続などを記載したものです。さらに昨年度からは、高等学校教育課程の改訂に伴い、新・旧両教育課程履修者が同時に受験することによる注意事項なども記載してあります。また、必要な書類等も折り込んであります。

受験生諸君は、この受験案内をよく読んで、誤りのないよう所定の手続をするとともに、注意事項などを十分理解の上、試験に臨まれることを期待します。

受験生諸君の健闘を祈ります。

昭和60年9月

大学入試センター所長

堯 天 義 久

2 昭和61年度大学入学者選抜共通第1次学力試験

受験案内

国立大学、公立大学及び産業医科大学に入学を志願する者は、共通第1次学力試験を受験しなければならない。〔(注)2を参照〕

1	昭和61年度国公立大学等入学者選抜実施日程	2
2	出願資格	3
3	出願手続の概要	5
4	検定料の納付方法	6
5	出願方法	8
6	志願票の記入方法	12
7	確認はがきの送付	16
8	試験場の指定	17
9	受験票等について	19
10	試験の期日及び試験時間	22
11	出題教科・科目等	22
12	試験問題冊子の注意事項及び解答用紙の様式について	26
13	資料の発表	36
14	再試験・追試験	37
15	身体に障害のある入学志願者及び不慮の事故等による負傷者等 に対する試験実施の際の受験特別措置及び志望大学との協議	38
	コード表	42
	1 高等学校等コード表	
	2 大学・学部コード表	

(注) 1 この受験案内には、志願票、検定料の納付書(3枚1組)、封筒(個人直接出願者用)等を折り込んであるので、確認すること。

2 国公立大学の推薦入学の場合及び帰国子女、社会人などの入学志願者について特別の方法により選抜を実施する場合には、共通第1次学力試験の受験を免除することがあるので、各大学が配付する推薦入学等の募集要項をよく見ること。

1 昭和61年度国公立大学等入学者選抜実施日程

共通第1次学力試験	年 月 日	各大学が実施する第2次試験
	昭和60年7月末まで	第2次試験実施要項発表
受験案内発表、配付開始	9月2日(月)から	
検定料納付	原則として9月2日(月)から11月2日(土)まで	
出願受付	10月30日(木)から11月8日(金)まで	
確認はがき送付(出願内容確認)	出願後3週間頃まで	
受験票等送付	12月下旬まで	
大学・学部等志望状況発表	12月25日(木)まで	募集要項発表、配付開始
試験実施	昭和61年1月上旬まで	
正解等を発表	1月25日(土)・26日(日)	
追試験実施	1月27日(月)	
	2月1日(土)・2日(日)	
	2月7日(金)まで	推薦入学(共通第1次学力試験を課さない場合)の結果発表(実施大学だけ)
試験実施結果の概要等の中間発表	2月7日(金)まで	
	2月8日(土)から15日(土)まで	出願受付 各公立大学もほぼ同じ時期
試験実施結果の概要等の最終発表	2月17日(月)以降	
	2月26日(木)まで	2段階選抜と推薦入学(共通第1次学力試験を課す場合)の結果発表(実施大学だけ)
	3月4日(火)から	各国立大学と大部分の公立大学が試験実施
	3月5日(水)以降	一部の公立大学が試験実施
	3月20日(木)まで	各国立大学が合格者発表(各公立大学もこれに準ずる)
	3月21日(金)以降	一部の国公立大学が第2次募集を実施

【備考】私立の産業医科大学の実施日程は、国立大学と同じである。

2 出願資格

【注意】出願資格について疑問がある場合は、出願する前になるべく早く大学入試センターに照会すること。
(照会先5ページ参照)

昭和61年度大学入学者選抜共通第1次学力試験に出願できる者は、次のいずれかに該当する者である。

- (1) 高等学校を卒業した者及び昭和61年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び昭和61年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第69条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び昭和61年3月31日までにこれに該当する見込みの者

これらの者は、次のとおりである。

- ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び昭和61年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定したもの(注1参照)
- イ 文部大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び昭和61年3月31日までに修了見込みの者

ウ 文部大臣の指定した者(注2参照)

エ 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部大臣が行う大学入学資格検定に合格した者及び昭和61年3月31日までに合格見込みの者

オ その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(注1)「文部大臣の指定したもの」は、次のとおりである。(昭和56年文部省告示第153号による。)

- 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で、昭和61年3月31日までに18歳に達するもの(大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」等がこれに該当する。)

- 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者を含む。）で、「東京外国語大学外国語学部附属日本語学校」、「国際学友会日本語学校」、「関西国際学友会日本語学校」又は「赴日留学生予備学校」において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、昭和61年3月31日までに18歳に達するもの

（注2）「文部大臣の指定した者」の主なもの、次のとおりである。（昭和23年文部省告示第47号による。）

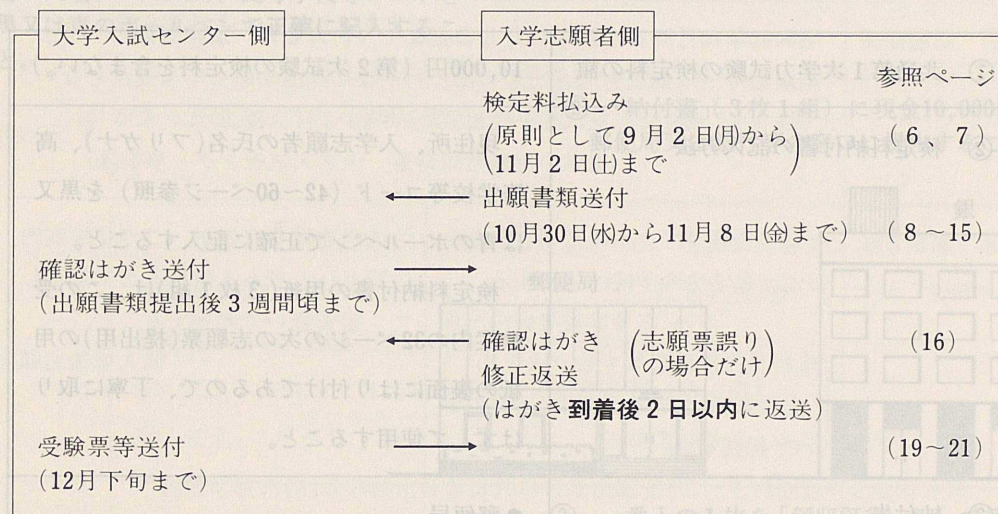
- 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による小学校、中学校若しくは高等学校の教諭の普通免許状を有する者又は教育職員免許法施行法（昭和24年法律第148号）によりこれらの免許状を有するものとみなされた者（旧教員免許令（明治33年勅令第134号）に基づく旧実業学校教員検定に関する規程（大正11年文部省令第4号）による実習科目に関する限りの実業学校教員免許状を有する者を除く。）
- スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で昭和61年3月31日までに18歳に達するもの

以下省略

3 出願手続の概要

【注意】 この受験案内の中では、入学志願者を次のように区分して記載してあるところがあるので、注意すること。

- 「高等学校等卒業見込者」→ 昭和61年3月高等学校（盲・聾・養護学校の高等部含む。）を卒業見込みの者
- 「高等学校卒業業者等」→ 10ページの出願資格区分A～Fに該当する者



入学志願者側からの届出等

（連絡先 大学入試センター事業課
〒153 東京都目黒区駒場2丁目19-23
電話 03 (465) 8600
平日9時30分から17時、土曜日9時30分から12時）

【注意】 郵便の場合は、表面に「……届出」等と朱書し、また、届出等の内容のほかに現住所、氏名、高等学校等コード、連絡電話番号、その他参考になる事項を必ず記入すること。

- ① 出願書類記入問合せ → 電話
- ② 検定料領収証書の紛失届出 → 電話
- ③ 出願後の氏名、現住所、
連絡電話番号の変更届出 → 速達郵便はがき
受験票到着後は、届出不要（身体障害者受験特別措置申請者を除く。）ただし、氏名の変更については、受験票到着後でも届け出ること。参照ページ (9, 13)
- ④ 確認はがき不着届出 → 電話 (16)
- ⑤ 受験票不着届出 → 速達郵便はがき (20)
- ⑥ 受験票再発行願い出 → 速達郵便（封筒） (21)

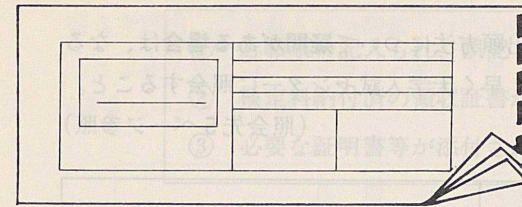
4 検定料の納付方法

- 【注意】
- 1 検定料を納付せずに出願しても、**受理しない**。
 - 2 検定料は、出願を受理した後は、いかなる理由があっても返還しない。

出願する前に、まず共通第1次学力試験の検定料を納付しなければならない。

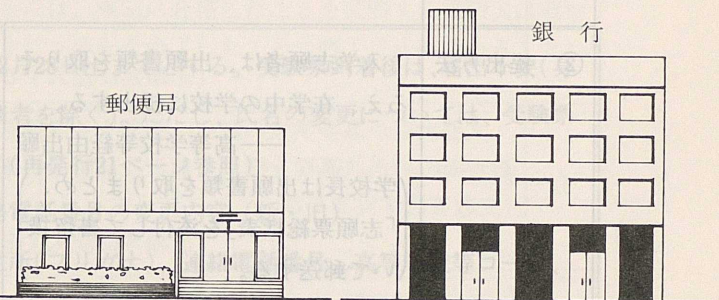
① 共通第1次学力試験の検定料の額	10,000円（第2次試験の検定料を含まない。）
② 検定料納付書の記入方法	現住所、入学志願者の氏名(フリガナ)、高等学校等コード(42~60ページ参照)を黒又は青のボールペンで正確に記入すること。 検定料納付書の用紙(3枚1組)は、この受験案内の32ページの次の志願票(提出用)の用紙の裏面にはり付けてあるので、丁寧に取りはずして使用すること。
③ 納付先	● 郵便局 ● 銀行等 (日本銀行又は市中銀行等の本店、支店で「日本銀行代理店」、「日本銀行歳入代理店」の表示があるところ)
④ 納付期限	9月2日(月)から11月2日(出)まで (郵便局、銀行等の窓口締切時刻まで) 特別の事情でやむを得ない場合は11月8日(金)まで
⑤ 領収証書の提出	志願票裏面の所定欄にはり付けて提出すること。

○ 検定料の納付手順



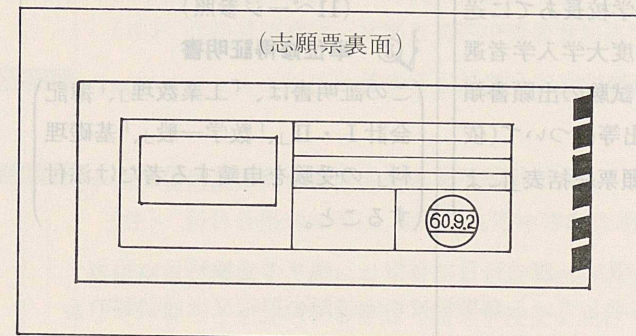
① 「納付書」(3枚1組)に現住所、入学志願者の氏名(フリガナ)、高等学校等コードを黒又は青のボールペンで**正確に記入**すること。

② 「納付書」(3枚1組)に現金10,000円を添えて郵便局又は銀行等の窓口へ提出すること。



③ 一番上の1枚を「領収証書」として受け取り、**領収印を確認**すること。

「領収証書」を紛失した場合、又は誤記のまま払い込んだ場合は、直ちに大学入試センターに連絡すること。(連絡先5ページ参照)



④ 志願票裏面の所定欄に**しっかりとのり**を付けて、はり付けること。

5 出願方法

【注意】 出願方法について疑問がある場合は、なるべく早く大学入試センターに照会すること。
(照会先5ページ参照)

区 分	高等学校等卒業見込者 (通信制課程を含む。)	高等学校卒業者等
① 出願期間	昭和60年10月30日(水)から11月8日(金)まで(11月8日 消印有効) 期限厳守 —— 期限を過ぎたものは、いかなる理由があっても受理しない。 (送付先 ☎100 東京都千代田区丸の内2丁目7番2号 東京中央郵便局留置 大学入試センター事業課)	
② 提出方法	入学志願者は、出願書類を取りそろえ、在学中の学校に提出する。 —— 高等学校等経由出願 (学校長は出願書類を取りまとめ、「志願票総括表」を添付して書留扱いで郵送する。	入学志願者自身が、この受験案内に折り込んである封筒を必ず使用して、書留扱いで郵送すること。 —— 個人直接出願
③ 出願書類の種類	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学志願者自身が用意するもの ① 志願票 (裏面に検定料領収証書を必ずはり付けること。 (高等学校等コードは、42～60ページ参照) ● 在学中の学校で卒業見込み・単位修得証明を一括作成して添付する。 (昭和60年8月26日付入試セ事第150号付で、別途高等学校長あてに送付した「昭和61年度大学入学者選抜共通第1次学力試験の出願書類の取りまとめ、提出等について(依頼)」に従って「志願票総括表」により証明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学志願者が出身学校等から入手して添付するもの(出身学校等の封筒から取り出して添付すること。) ② 出願資格を証明するもの (11ページ参照) ③ 単位修得証明書 (この証明書は、「工業数理」、「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」、「数学一般」、「基礎理科」の受験を申請する者だけ添付すること。)

(注) 1 出願書類に次のような不備があるものは、受理しない。

- ① 志願票の記入もれ、誤記
- ② 検定料納付済の領収証書がはり付けられていないもの
- ③ 必要な証明書等が添付されていないもの

2 志願票を大学入試センターに提出した後は、いかなる理由があっても**その記入事項を変更することはできない。**

ただし、氏名、現住所(志願票に現住所を記入した者だけ)、連絡電話番号に変更があった場合は、次の事項を郵便はがきにより届け出ること。(届出先5ページ参照)

- この届出は、昭和60年12月28日(土)までとする。受験票到着後は、届出不要(身体障害者受験特別措置申請者を除く)。ただし、氏名の変更については、受験票到着後でも届け出ること。(再発行21ページ参照)
- ① 氏名、現住所又は連絡電話番号の変更内容(新・旧)
 - ② 氏名(フリガナ)、現住所(フリガナ)、連絡電話番号、高等学校等コード、高等学校名(高等学校出身者以外の者は出願資格)、その他参考となる事項

「高等学校卒業等」の出願資格区分

【注意】 出願資格について疑問がある場合は、出願する前になるべく早く大学入試センターに照会すること。
(照会先5ページ参照)

区分	出 願 資 格
A	高等学校卒業等（盲学校、聾学校、養護学校の高等部を含む。）
B	高等専門学校第3学年修了者及び昭和61年3月修了見込者
C	外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び昭和61年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号） (志願票に記入する高等学校等コードは、52000E)
D	文部大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び昭和61年3月31日までに修了見込みの者（立教英国学院高等部がこれに該当する。） (志願票に記入する高等学校等コードは、55000A)
E	文部大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号） (志願票に記入する高等学校等コードは、53000A)
F	大学入学資格検定に合格した者及び昭和61年3月31日までに合格見込みの者で、昭和61年3月31日までに18歳に達するもの (志願票に記入する高等学校等コードは、51000K) (1) 大学入学資格検定合格者 (2) 昭和60年度大学入学資格検定に合格見込みの者 (3) 科目合格者の単位修得による昭和60年度大学入学資格検定に合格見込みの者 (大学入学資格検定で既に一部の科目に合格し、残りの受検科目に相当する科目について、在学している高等学校の定時制の課程又は通信制の課程で、昭和61年3月31日までに修得する見込みの者がこれに該当する。)

出願資格を証明する書類の種類

【注意】 左表の自己の出願資格に該当する出願書類を8ページの書類に添えて提出すること。

提出する出願書類の種類
卒業証明書（出身高等学校長が発行するもの。様式を問わない。）
高等専門学校第3学年を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類（高等専門学校長が発行するもの。様式を問わない。）
外国において学校教育の12年の課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類 文部大臣の指定した者に該当するものは、検定に合格したことを証明する書類又は我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類
在外教育施設の高等学校の課程に相当する課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類
出身学校等を卒業又は修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類又はこれに準ずるもの 国際バカロレア資格を取得した者は、国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写
大学入学資格検定合格証書の写又は合格証明書 (注) 合格証明書は、文部省初等中等教育局高等学校課に請求し入手すること。 昭和60年度大学入学資格検定受検出席票（受検の際に配付される。）
大学入学資格検定科目合格通知書 (注) 科目合格通知書は、文部省初等中等教育局高等学校課に請求し入手すること。 受検科目に相当する科目を、在学する高等学校の定時制の課程又は通信制の課程で履修していることを証明する書類（高等学校長が発行するもの。様式を問わない。）

6 志願票の記入方法

(1) 記入上の注意

ア 入学志願者は、志願票の記入例を参照し、まず「志願票控」に記入してみて、その記入内容に誤りがないことを確認した後に、「志願票」（提出用）に記入すること。

「志願票」（提出用）の用紙は、この受験案内の32ページの次に折り込んであるものを、丁寧に取りはずして使用すること。

イ 黒又は青のボールペンで丁寧に記入すること。

ウ 誤って記入した場合は、なるべく新しい志願票を入手し記入し直すこと。やむを得ない場合は、誤記部分を二重線で消し、訂正すること。

エ 「志望大学・学部等」の記入について

志願票には、志望する大学・学部等のコード番号を「大学・学部コード表」(61～64ページ)により、志願票の「志望大学・学部等」欄に記入すること。この場合、第2志望まで記入することができる。

第1志望は、必ず記入しなければならない。

(注) 各大学の第2次試験の出願の際には、共通第1次学力試験の出願の際に記入した第1志望又は第2志望のいずれかに出願することが原則である。ただし、特に必要がある場合は、それ以外の大学・学部等に変更することも差し支えない。

オ 「現住所」の記入について

(7) 高等学校等卒業見込者(通信制課程を除く。)は、志願票には「現住所」の記入を要しない。

(4) 高等学校卒業業者等(通信制課程卒業見込者を含む。)は、志願票に「現住所」を必ず記入すること。

- ① 「現住所」は、住民登録の有無は問わないが、確認はがき、受験票等の郵送に使用するので、郵便物を確実に受領できるように正しく記入すること。その他出願上の照会等は、すべて「現住所」あてに行うので注意すること。
- ② 試験場は、この「現住所」に基づいて指定するので、注意すること。
(17ページ参照)
- ③ 現住所の変更届出については、9ページを参照すること。

(注) 記入に当たっては、12、13ページの記入上の注意、14ページの試験場の記入例を参照すること。

(2) 志願票の記入例

高等学校等コード表(42~60ページ)の該当するコードを記入すること。

試験場の指定に関連するので必ずいずれか該当するものを○で囲むこと。

志願者は記入を要しない。

身体障害者受験特別措置を申請する者だけ○で囲む。

西暦で記入してはいけない。

明治、大正に該当する者だけ○で囲むこと。

該当する年号を○で囲むこと。

1ケタの場合にはあたまに0を記入すること。

団地、アパート等に居住している者は、棟番号番まで必ず記入すること。

下宿等の場合は、「○○○方」などの肩書きを必ず記入すること。

卒業見込者は、記入してはいけない。

該当する資格を○で囲む。高等学校卒業者(卒業見込者を含む)は記入してはいけない。

「大学・学部コード表」(61~64ページ)により、記入すること。

第1志望は、必ず記入すること。

大学入学資格検定合格(見込)者は記入不要。

現住所は、住民登録の有無は問わないが、受験票等の郵便物が確実に受領できるように正しく記入すること。
試験場の指定は、この現住所に基づいて行う。

郡・市・区・町村、町・丁目・番地・団地・棟・号・方等の間は1コマあけること。

緊急の連絡の場合必要となるので、卒業見込者・卒業者等にかかわらず、必ず記入すること。

高等学校等においてこの科目を履修した者又は大学入学資格検定で受験の際に選択した者だけが申請できる。

ここに○印をつけた者はその科目の単位修得証明書が必要である。
(高等学校等卒業見込者は、在学する学校で添付する。)

昭和61年度大学入学資格検定共通第1次学力試験 志願票 (提出用)

① 高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入) 14251E

② 漢字等記入 (かい書で丁寧に記入すること) ④ 性別 男 ⑤ 生年月日 昭和41年7月6日生 (明治、大正)

氏名 青葉 一郎

③ カタカナ記入 (姓と名の間は、1コマをあげ、濁点及び半濁点は1コマとする) アオバ イチロウ

⑥ 年号 年 月 日 M 明治 T 大正 S 昭和

⑦ (郵便番号) (都道府県名) (郡・市名) 227-00 神奈川県 横浜市 緑区 青葉台2丁目19-23 青葉荘3号室

⑧ 漢字等記入 (区・町村名) (町・丁目・番地・団地・棟・号) (方)

⑨ カタカナ 数字等記入 (都道府県名) (郡・市・区・町・丁目・番地・団地・棟・号) (方)

⑩ 連絡電話番号 045-465-8600

出願資格

高等学校卒業者 (卒業見込者を含む)						高等学校卒業者以外				
11 課程	12 学 科	13 卒業見込・卒業の別		14 卒業した年	15 卒業した年	1 外国の学校等	2 在外教育施設	3 文部大臣の指定した者	4 大資格入検学定	5 その他
1 全日制	2 定時制	3 通信制	1 普通科	2 農業科	3 工業科	1 卒業見込	2 卒業見込	3 卒業見込	4 卒業見込	5 卒業見込
169	170	171	172	173	174					

受験申請科目 志望大学・学部等

新教育課程履修者				旧教育課程履修者				20 第1志望		21 第2志望	
16	17	18	19	20	21	22	23	大学・学部コード		大学・学部コード	
工業数理	簿記会計I・II	数学一般	基礎理科	138	123	06	09				
175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186

出身学校名 神奈川県 国立 新栄 高等学校

昭和61年度大学入学資格検定共通第1次学力試験

志願票控

高等学校記入欄

②③ 整理番号 (高等学校単位に一連番号を右につけて記入)

②④ 身体障害者受験特別措置

1 希望

① 高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入)

2

② 漢字等記入 (かい書で丁寧に記入すること) ④ 性別 ⑤ 生年月日

氏名 男 女 昭和 年 月 日生 (明治、大正)

③ カタカナ記入 (姓と名の間は、1コマをあげ、濁点及び半濁点は1コマとする。)

⑥ 年号 年 月 日 M 明治 T 大正 S 昭和

⑦ (郵便番号) (都道府県名) (郡・市名)

⑧ 漢字等記入 (区・町村名) (町・丁目・番地・団地・棟・号) (方)

⑨ カタカナ 数字等記入 (都道府県名) (郡・市・区・町・丁目・番地・団地・棟・号) (方)

⑩ 連絡電話番号

出願資格

高等学校卒業者 (卒業見込者を含む)						高等学校卒業者以外				
11 課程	12 学 科	13 卒業見込・卒業の別		14 卒業した年	15 卒業した年	1 外国の学校等	2 在外教育施設	3 文部大臣の指定した者	4 大資格入検学定	5 その他
1 全日制	2 定時制	3 通信制	1 普通科	2 農業科	3 工業科	1 卒業見込	2 卒業見込	3 卒業見込	4 卒業見込	5 卒業見込
169	170	171	172	173	174					

受験申請科目 志望大学・学部等

新教育課程履修者				旧教育課程履修者				20 第1志望		21 第2志望	
16	17	18	19	20	21	22	23	大学・学部コード		大学・学部コード	
工業数理	簿記会計I・II	数学一般	基礎理科								
175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186

出身学校名 都道府県 国立 公立 私立 高等学校 学校

(注) 記入に当たっては、12、13ページの記入上の注意、14ページの志願票の記入例を参照すること。

7 確認はがきの送付

【注意】 確認はがきが到着したら、直ちに登録事項に誤りがないか必ず確認すること。

確認はがきは、大学入試センターが受理した志願票の記入事項を電子計算機に登録した後、その主要事項について、入学志願者に照合確認を求めるとともに送付するものである。

区 分	高等学校等卒業見込者	高等学校卒業業者等
大学入試センターからの送付方法	在学中の学校を經由して本人に送付（通信制課程卒業見込者を除く。）	本人に直接送付（通信制課程卒業見込者を除く。）
送 付 時 期	出願後おおよそ3週間頃まで 不着の場合は届け出ること。（届出先5ページ参照）	
登録内容に誤りがある場合	誤った箇所を「赤」で修正し、そのはがきを封筒に入れて速達郵便で受領日を含め2日以内に返送すること。（返送先5ページ参照）	

8 試験場の指定

(1) 試験場は、各大学が設定する。

試験場は、原則として都道府県を単位とする次ページの「試験地区」区分に基づき設定する。

(2) 各入学志願者の試験場は、大学入試センターが、出願資格別に次表により指定し、受験票に記載して通知する。指定された試験場以外での受験は認めない。

出 願 資 格	指定する試験場	備 考
① 高等学校等を昭和61年3月卒業見込みの者（通信制課程を除く。）	在学する高等学校等が所在する試験地区内の試験場	「試験地区」は原則として都道府県を単位とする。 ただし、北海道、埼玉県、神奈川県、大阪府、兵庫県、長崎県、鹿児島県及び沖縄県にあつては、次ページの「試験地区区分表」で定めるとおりとする。
② 高等学校卒業者 高等学校通信制課程卒業見込者 高等専門学校第3学年修了者 大学入学資格検定合格者 文部大臣の指定した者等	志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場	

(注) 1 出願後の現住所変更による、試験場の指定の変更は認めない。

2 ②の出願資格に係る者の確認はがき、受験票等は、志願票に記入された現住所に直接送付する。

試験地区区分表

(試験地区名)

北海道 石狩支庁地区	神奈川県	徳島県
" 空知支庁地区	(川崎市、横浜市緑区・港北区を除く。)	香川県
" 上川・宗谷・留萌支庁地区	新潟県	愛媛県
" 後志支庁地区	富山県	高知県
" 檜山・渡島支庁地区	石川県	福岡県
" 胆振・日高支庁地区	福井県	(長崎県壱岐郡、対馬支庁を含む。)
" 十勝支庁地区	山梨県	佐賀県
" 根室・釧路支庁地区	長野県	長崎県
" 網走支庁地区	岐阜県	(壱岐郡、対馬支庁を除く。)
青森県	静岡県	熊本県
岩手県	愛知県	大分県
宮城県	三重県	宮崎県
秋田県	滋賀県	鹿児島県
山形県	京都府	(大島郡与論町・知名町・和泊町を除く。)
福島県	(大阪府枚方市、寝屋川市、交野市を含む。)	沖縄県那覇地区(注1)
茨城県	大阪府	(鹿児島県大島郡与論町・知名町・和泊町を含む。)
栃木県	(枚方市、寝屋川市、交野市を除く。)	" 宮古地区(注2)
群馬県	兵庫県	" 石垣地区(注3)
埼玉県	(美方郡村岡町・浜坂町・美方町・温泉町、城崎郡香住町を除く。)	
(所沢市、入間市、狭山市、飯能市、秩父市、秩父郡、富士見市、上福岡市、坂戸市、東松山市、比企郡、入間郡を除く。)	奈良県	
千葉県	和歌山県	
東京都	鳥取県	
(埼玉県所沢市、入間市、狭山市、飯能市、秩父市、秩父郡、富士見市、上福岡市、坂戸市、東松山市、比企郡、入間郡及び神奈川県川崎市、横浜市緑区・港北区を含む。)	(兵庫県美方郡村岡町・浜坂町・美方町・温泉町、城崎郡香住町を含む。)	
	島根県	
	岡山県	
	広島県	
	山口県	

- (注) 1 沖縄県「那覇地区」は、石川市、糸満市、浦添市、沖縄市、宜野湾市、具志川市、那覇市、名護市、国頭郡、島尻郡、中頭郡をいい、鹿児島県大島郡与論町・知名町・和泊町を含む。
- 2 沖縄県「宮古地区」は、平良市、宮古郡をいう。
- 3 沖縄県「石垣地区」は、石垣市、八重山郡をいう。

9 受験票等について

【注意】 受験票は、第2次試験の際にも提示する必要があるため、絶対に紛失しないこと。

(1) 受験票等の送付

受験票、写真票及び成績請求票は、受験者心得とともに12月下旬までに送付する。

- 大学入試センターからの送付方法

区 分	送 付 方 法
高等学校等卒業見込者 (通信制課程を除く。)	高等学校等を経由して本人に送付する。
高等学校卒業業者等 (通信制課程卒業見込者を含む。)	本人に直接送付する。

- 受験票、写真票の受領後の取扱い (入学志願者)

区 分	受 験 票	写 真 票
① 試験当日の持参	試験当日必ず持参すること。	試験当日必ず持参して、試験室で提出すること。
② 注意事項の熟読	裏面に記載されている注意事項をよく読んでおくこと。	
③ 写真のはり付け	受験票及び写真票の写真欄には、同一の写真を全面にのり付けをして、丁寧にはり付けておくこと。 (写真の大きさは、縦4cm・横3cm、試験日前3か月以内に撮影した無帽上半身のもの。なお、受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡を着用して撮影したもの。)	
④ 氏名の記入	自署欄に、受験者本人が、氏名を黒又は青のボールペンであらかじめ自署しておくこと。 (この署名は、答案の署名と照合することがある。)	
⑤ 第2次試験受験時の持参	第2次試験受験の際にも必ず持参すること。(紛失、汚損しないよう十分注意すること。)	

(2) 成績請求票の第2次試験出願大学への提出について

【注意】 成績請求票を提出しないと、第2次試験の出願が受理されないため、絶対に紛失しないこと。

- ① 成績請求票は、各大学の第2次試験の出願の際に、その大学の募集要項の指示に従い出願書類の所定欄にはり付けて、**各大学に提出**すること。(共通第1次学力試験を課さない推薦入学等を除く。)
- ② 成績請求票は、「国公立大学提出用」1枚、「公立大学提出用」2枚、「第2次募集用」1枚の3種類計4枚ある。各大学の第2次試験の出願は、この枚数の範囲内に限る。

成績請求票の種類	提出先	備考
国公立大学提出用	国立大学、公立大学、私立産業医科大学	出願先の大学が指定する種類の成績請求票を1枚はり付けること。
公立大学提出用	公立大学	
第2次募集用	国立大学、公立大学、私立産業医科大学	

(注) 成績請求票の記載事項は、次のとおりである。

受験番号 — 試験場コード — 発行回数
(フリガナ)
氏 名

(3) 受験票、写真票、成績請求票及び受験者心得が不着の場合の届出

受験票、写真票、成績請求票及び受験者心得が、**昭和61年1月6日(月)までに到着しなかった場合**は、至急、次の事項を速達郵便はがきにより届け出ること。(届出先5ページ参照)

- ① 受験票等が不着であること。
- ② 氏名(フリガナ)、現住所(フリガナ)、連絡電話番号、高等学校等コード、高等学校校名(高等学校出身者以外の者は出願資格)、その他参考となる事項

(注) 大学入試センターは、この届出を受けた場合には、不着の事由等を調査の上、受験票等を改めて送付する。

(4) 受験票等の再発行

再発行は、原則として行わない。

ただし、次の事由がある場合だけ再発行を行う。再発行を受けた場合には、**当初の受験票、成績請求票は無効となるので、使用してはならない。**

- ① 氏名に変更があった場合
- ② 氏名、性別、生年月日に誤記があった場合
- ③ 受験票、写真票、成績請求票を紛失したり、汚損したりした場合

再発行申請の方法

区分	共通第1次学力試験実施前	共通第1次学力試験実施後
再発行申請書の記入事項	① 必要とする受験票、写真票、成績請求票の種別 ② 再発行申請事由(氏名変更、紛失、汚損等) ③ 氏名(フリガナ)、現住所(フリガナ)、連絡電話番号、高等学校等コード、高等学校校名(高等学校出身者以外の者は出願資格)、その他参考となる事項	
申請する際に添付するもの		受験票の再発行を申請する場合だけ次のものが必要である。 ① 写真 (写真の大きさは、縦4cm・横3cm、申請日前3か月以内に撮影した無帽上半身のもの。なお、受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡を着用して撮影したもの。) — 1枚 ② 署名 (白紙に氏名を黒又は青のボールペンで自署したもの、縦1cm・横4.5cm) — 1枚
返信用封筒の同封	510円切手をはった簡易書留の返信用封筒(長形3号:縦23.5cm・横12cm)表面に現住所・氏名を記入し、「簡易書留」と赤で表示したものを同封すること。	
提出方法	① 速達郵便により速やかに申請すること。 ② 封筒の表面に「受験票等再発行願い出」と朱書すること。 (提出先5ページ参照)	

(注) 大学入試センターは、申請事由を審査の上再発行し、本人に送付する。

10 試験の期日及び試験時間

昭和61年度大学入学者選抜共通第1次学力試験は、昭和61年1月25日(土)・26日(日)の2日間にわたり実施する。

期 日	試験教科	試験時間
昭和61年 1月25日(土)	国 語	10:00 — 11:40
	数 学	13:00 — 14:40
	外 国 語	15:30 — 17:10
1月26日(日)	社 会	10:00 — 12:00
	理 科	13:20 — 15:20

11 出題教科・科目等

(1) 共通第1次学力試験の出題は、高等学校学習指導要領に準拠して行う。

出題教科・科目等は、(3)及び(4)のとおりである。

5教科をすべて受験しなければならない。1教科でも受験しなかった場合には、失格となる。したがって、各大学の第2次試験に出願することができない。(共通第1次学力試験を課さない推薦入学等を除く。)

(2) 共通第1次学力試験は、主として多肢選択による客観式の検査方式により出題し、解答はマークシート方式による。

(3) 新教育課程履修者に対する出題教科・科目等

(注) 「新教育課程履修者」とは、高等学校(盲学校、聾学校及び養護学校の高等部を含む。)に昭和57年4月以降に入学し、昭和61年3月までに卒業又は卒業見込みの者である。

教科	試験時間(配点)	出題科目	出題方法等	解答する科目の選択方法
国 語	100分(200点)	「国語Ⅰと国語Ⅱを合わせたもの」		
社 会	120分(200点)	「現代社会と倫理及び政治・経済を合わせたもの」「日本史」「世界史」「地理」	「現代社会と倫理及び政治・経済を合わせたもの」は、「現代社会」だけを履修した者、並びに「倫理」及び「政治・経済」だけを履修した者のいずれにも対応した出題とする。	「現代社会と倫理及び政治・経済を合わせたもの」1科目と、「日本史」「世界史」及び「地理」の3科目のうちから1科目を試験室で選択し、計2科目を解答する。
数 学	100分(200点)	「数学Ⅰと数学Ⅱ、工業数理及び「簿記会計Ⅰ・簿記会計Ⅱ」を合わせたもの」	「数学Ⅱ」の電子計算機と流れ図は、出題範囲から除く。「数学Ⅱ」については、「数学Ⅱ」を履修した者並びに「代数・幾何」「基礎解析」及び「確率・統計」のうち2科目以上を履修した者のいずれにも対応した出題とする。 「簿記会計Ⅱ」は、前半の内容(①特殊な取引の記帳、②帳簿組織、③株式会社の記帳)を出題範囲とする。	「数学Ⅰ」については、全問解答する。「数学Ⅱ」「工業数理」及び「簿記会計Ⅰ・簿記会計Ⅱ」については、これら三つのうちから一つを選択し、解答する。 ただし、「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・簿記会計Ⅱ」を選択解答できる者は、高等学校で新教育課程の当該科目を履修した者で、共通第1次学力試験の出願時にその科目の受験を申請し、承認された者に限る。
理 科	120分(200点)	「理科Ⅰ」「物理」「化学」「生物」「地学」		「理科Ⅰ」1科目と、「物理」「化学」「生物」及び「地学」の4科目のうちから1科目を試験室で選択し、計2科目を解答する。
外 国 語	100分(200点)	「英語Ⅰと英語Ⅱを合わせたもの」「ドイツ語」「フランス語」		「英語Ⅰと英語Ⅱを合わせたもの」、これに準じた「ドイツ語」及び「フランス語」のうちから1科目を試験室で選択し、解答する。

(注) 1 「社会」及び「理科」の各科目の配点は、いずれも100点とするが、「数学」については「数学Ⅰ」120点、「数学Ⅱ」80点(「工業数理」「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」も同じ。)とする。
 2 「工業数理」の使用単位系は、「SI」(国際単位系)に統一する。
 3 「工業数理」「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」は、「数学」の試験時間中に選択解答するものとして試験が行われるので、他の科目と同様に、電子式卓上計算機、そろばん、グラフ用紙、定規等の補助具の使用を認めない。
 4 「工業数理」「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」を選択しようとする者は、出願の際に志願票で受験申請しなければならない。その手続については、8ページを参照すること。これらの科目を受験することが認められた者(受験票に表示する。)は、他の科目に変更して解答することはできない。

(4) 旧教育課程履修者に対する出題方法等

(注) 「旧教育課程履修者」とは、高等学校(盲学校、聾学校及び養護学校の高等部を含む。)に昭和57年4月以降に入学し、昭和61年3月までに卒業又は卒業見込みの者以外のものとする。

教科	試験時間(配点)	出題科目	旧教育課程の対応科目	旧教育課程科目対応問題等の出題方法	解答する科目の選択方法
国語	100分(200点)	「国語Ⅰと国語Ⅱを合わせたもの」	「現代国語と古典Ⅰ甲」	(左の出題科目は、旧教育課程の対応科目の履修により受験できるので、経過措置は行わない。)	
社会	120分(200点)	「現代社会と倫理及び政治・経済を合わせたもの」	「倫理・社会」「政治・経済」	「倫理」と旧「倫理・社会」の共通の範囲の問題と、旧「倫理・社会」に固有の範囲の問題とを合わせた問題(旧「倫理・社会」対応問題)を出題し、旧「倫理・社会」について対応できるようにする。旧「政治・経済」についてもこれに準ずる。	下記の①から④のうちから二つ(計2科目)を試験室で選択し、解答する。 ①「現代社会と倫理及び政治・経済を合わせたもの」 ②「日本史」 ③「世界史」 ④「地理」
		「日本史」「世界史」	「日本史」「世界史」	(左の出題科目は、旧教育課程の対応科目の履修により受験できるので、経過措置は行わない。)	②「日本史」 ③「世界史」 ④「地理」
		「地理」	「地理A」「地理B」	「地理」と旧「地理A」の共通の範囲の問題と、旧「地理A」に固有の範囲の問題とを合わせた問題(旧「地理A」対応問題)を出題し、旧「地理A」について対応できるようにする。旧「地理B」についてもこれに準ずる。	④「地理」 新「地理」、旧「地理A」対応問題又は旧「地理B」対応問題のうちいずれかを選択
数学	100分(200点)	「数学Ⅰと数学Ⅱを合わせたもの」	「数学Ⅰ」	新教育課程の「数学Ⅰ」と、「数学Ⅱ」中の問題を選択することにより解答し得るように出題し、旧「数学Ⅰ」について対応できるようにする。	
			「数学一般」	旧「数学一般」を出題科目として残し、従前と同様な方法で出題する。	高等学校において旧「数学一般」を履修した者又は大学入学資格検定受験の際に旧「数学一般」を選択した者で、共通第1次学力試験の出願時にその受験を申請し、承認されたものに限り選択できる。 なお、「数学一般」を解答した者は、数学の他の科目を解答する必要はない。

教科	試験時間(配点)	出題科目	旧教育課程の対応科目	旧教育課程科目対応問題等の出題方法	解答する科目の選択方法
理科	120分(200点)	「理科Ⅰ」		(左の出題科目に対応した旧教育課程の出題科目はなかったため、経過措置は行わない。)	下記のいずれか一つの方法により、試験室で選択し、計2科目を解答する。 ①「理科Ⅰ」1科目と「物理」、「化学」、「生物」又は「地学」のうちから1科目、計2科目を選択し、解答する。 ②「理科Ⅰ」を解答せず、旧「物理Ⅰ」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」又は「地学Ⅰ」の各対応問題のうちから2科目を選択し、解答する。
		「物理」「化学」「生物」「地学」	「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」	「物理」と旧「物理Ⅰ」の共通の範囲の問題と、旧「物理Ⅰ」に固有の範囲の問題とを合わせた問題(旧「物理Ⅰ」対応問題)を出題し、旧「物理Ⅰ」について対応できるようにする。旧「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」及び「地学Ⅰ」についてもこれに準ずる。	
		「理科Ⅰ」「物理」「化学」「生物」「地学」	「基礎理科」	旧「基礎理科」を出題科目として残し、従前と同様な方法で出題する。	高等学校において旧「基礎理科」を履修した者又は大学入学資格検定受験の際に旧「基礎理科」を選択した者で、共通第1次学力試験の出願時にその受験を申請し、承認されたものに限り選択できる。 なお、「基礎理科」を解答した者は、理科の他の科目を解答する必要はない。
外国語	100分(200点)	「英語Ⅰと英語Ⅱを合わせたもの」「ドイツ語」「フランス語」	「英語B」「英語A」「ドイツ語」「フランス語」	(左の出題科目は、旧教育課程の対応科目の履修により受験できるので、経過措置は行わない。)	

(注) 「数学一般」、「基礎理科」を選択しようとする者は、出願の際に志願票で受験申請しなければならない。その手続については、8ページを参照すること。(ただし、大学入学資格検定合格(見込)者については、大学入試センターで調査するので証明書は提出不要。)これらの科目を受験することが認められた者(受験票に表示する。)は、他の科目に変更して解答することはできない。

②日本史				場合は、「A群」-「D群」の中から一つだけ選択せよ。
③世界史				また、④を選択する場合は、「A群」-「ウ群」の中から一つだけ選択せよ。
④地理	ア群	地理		
	イ群	地理A		
	ウ群	地理B		

12 試験問題冊子の注意事項及び解答用紙の様式について

昭和61年度大学入学者選抜共通第1次学力試験においては、新教育課程による出題教科・科目を受験することが原則であるが、旧教育課程履修者のうち、希望する者は、前記11-(4)「旧教育課程履修者に対する出題方法等」とおり、経過措置による出題を含め、選択解答ができることになる。

このため、

(1) 社会及び理科の試験問題冊子では、新教育課程履修者用問題と旧教育課程履修者用問題が同一の冊子に編集されるので、受験時に解答する科目の選択方法を間違えないよう、あらかじめ、問題冊子の注意事項(抜粋)により十分理解しておくこと。

(2) 解答用紙(マークシート)は、新・旧両教育課程とも同一の用紙を使用することになる(29、31ページ参照)ので、選択解答する科目のマークを間違えないよう、あらかじめ、解答用紙の様式(見本)により十分理解しておくこと。

(3) 数学、外国語についても、科目選択があるので、例示をよく見て、間違えないよう十分理解しておくこと。

社会

① 問題冊子の注意事項(抜粋)

社 会 (200点 120分)

注 意 事 項 注意事項は、裏表紙にも続くので、この問題冊子を裏返して必ず読むこと。ただし、問題冊子を開いてはいけない。

- 1 一省 略—
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、次のとおりである。

〔新教育課程履修者〕 2 科目 解 答

出 題 科 目	問 題 群		ペー ジ	選 択 方 法
現 代 社 会 (倫理、政治・経済)	A群	現 代 社 会	～	「A群」又は「B群」の いずれか一つを必ず選択 せよ。
	B群	倫理、政治・経済	～	
日 本 史	—		～	左の3科目のうちから 1科目を選択せよ。
世 界 史	—		～	
地 理	A群	地 理	～	

〔旧教育課程履修者〕 2 科目 解 答

出 題 科 目	問 題 群		ペー ジ	選 択 方 法
①現 代 社 会 (倫理、政治・経済)	A群	現 代 社 会	～	①～④のうちから2科 目を選択せよ。 ただし、①を選択する 場合は、「A群」～「D群」の 中から一つだけ選択せよ。 また、④を選択する場 合は、「ア群」～「ウ群」の 中から一つだけ選択せよ。
	B群	倫理、政治・経済	～	
	C群	倫 理 ・ 社 会	～	
	D群	政 治 ・ 経 済	～	
②日 本 史	—		～	
③世 界 史	—		～	
④地 理	ア群	地 理	～	
	イ群	地 理 A	～	
	ウ群	地 理 B	～	

3 一省 略—

4 解答用紙は、1科目につき片面を使用せよ。どの面をどの科目に使用してもよい。

解答科目マーク欄の

上段 部分は、**新教育課程履修者**の選択科目(問題群)である。

下段 部分は、**旧教育課程履修者**の選択科目(問題群)である。

解答科目(問題群)マーク								
現代社会 A	現代社会 B	現代社会 C	現代社会 D	日本史	世界史	地理 A	地理 I	地理 U
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5 監督者の指示に従って、解答用紙の下記の該当欄にそれぞれ正しく記入し、マークせよ。

① 受験番号欄

両面に、**受験番号**(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。

② 氏名欄、試験場コード欄

両面に、**氏名**(フリガナ)及び**試験場コード**(数字及び英字)を記入すること。

③ 解答科目マーク欄・解答科目名欄

第1面には、**第1面で解答する科目(問題群)**(例：現代社会A)に一つマークし、さらにその科目(問題群)名を記入すること。

第2面には、**第2面で解答する科目(問題群)**に一つマークし、さらにその科目(問題群)名を記入すること。

6 受験番号及び解答する科目(問題群)名が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。

7

8 一省 略—

9

② 解答用紙の様式(見本)

原寸 222.25mm×279.40mm以下同型

社会解答用紙・第1面

この面で解答する科目(問題群)に一つマークし、さらにその科目(問題群)名を記入せよ。

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークせよ。

受験番号				
千位	百位	十位	一位	英字
0	0	0	0	0

氏名(フリガナ)、試験場コードを記入せよ。

フリガナ
氏名

試験場コード
万位 千位 百位 十位 一位 英字

解答科目(問題群)マーク

現代社会 A	現代社会 B	現代社会 C	現代社会 D	日本史	世界史	地理 A	地理 I	地理 U
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

解答番号	解答欄									解答番号	解答欄									解答番号	解答欄									解答番号	解答欄								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9		1	2	3	4	5	6	7	8	9		1	2	3	4	5	6	7	8	9		1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0			
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0	77	0	0	0	0	0	0	0	0			
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0	0	0	0	0	78	0	0	0	0	0	0	0	0			
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	79	0	0	0	0	0	0	0	0			
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0	0	0	0	0	80	0	0	0	0	0	0	0	0			
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	81	0	0	0	0	0	0	0	0			
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0	82	0	0	0	0	0	0	0	0			
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	58	0	0	0	0	0	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	0			
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	84	0	0	0	0	0	0	0	0			
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	85	0	0	0	0	0	0	0	0			
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0	0	0	0	0	86	0	0	0	0	0	0	0	0			

以下略

社会解答用紙・第2面

この面で解答する科目(問題群)に一つマークし、さらにその科目(問題群)名を記入せよ。

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークせよ。

受験番号				
千位	百位	十位	一位	英字
0	0	0	0	0

氏名(フリガナ)、試験場コードを記入せよ。

フリガナ
氏名

試験場コード
万位 千位 百位 十位 一位 英字

解答科目(問題群)マーク

現代社会 A	現代社会 B	現代社会 C	現代社会 D	日本史	世界史	地理 A	地理 I	地理 U
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

解答番号	解答欄									解答番号	解答欄									解答番号	解答欄									解答番号	解答欄								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9		1	2	3	4	5	6	7	8	9		1	2	3	4	5	6	7	8	9		1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0			
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0	77	0	0	0	0	0	0	0	0			
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0	0	0	0	0	78	0	0	0	0	0	0	0	0			
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	79	0	0	0	0	0	0	0	0			
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0	0	0	0	0	80	0	0	0	0	0	0	0	0			
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	81	0	0	0	0	0	0	0	0			
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0	82	0	0	0	0	0	0	0	0			
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	58	0	0	0	0	0	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	0			
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	84	0	0	0	0	0	0	0	0			
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	85	0	0	0	0	0	0	0	0			
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0	0	0	0	0	86	0	0	0	0	0	0	0	0			
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0	0	0	0	0	0	62	0	0	0	0	0	0	0	0	87	0	0	0	0	0	0	0	0			

以下略

※ 1科目につき、片面を使用すること。
どの面をどの科目に使用してもよい。

数 学

① 問題冊子の注意事項(抜粋)

数 学

〔 数 学 I 数 学 II 〕
〔 工業数理 簿記会計 I・II 〕 (200点 100分)

注 意 事 項

- 一省 略—
- 出題科目、ページ及び科目の選択方法等は、下表のとおりである。

受験者区分	出題科目	ページ	問題の選択方法
数学Iと数学IIを解答する者	数 学 I	～	数学Iは、問題①、
	数 学 II	～	②、③を全員全問解答
工業数理の受験承認を受けた者	数 学 I	～	数学II、工業数理及び簿記会計I・IIは、それぞれの問題④、⑤、⑥のうちから2問選択解答
	工 業 数 理	～	
簿記会計I・IIの受験承認を受けた者	数 学 I	～	
	簿記会計I・II	～	

- 一省 略—
- 監督者の指示に従って、解答用紙の下記の該当欄にそれぞれ正しく記入し、マークせよ。

- 受験番号欄
受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。
- 氏名欄、試験場コード欄
氏名(フリガナ)及び試験場コード(数字及び英字)を記入すること。
- 解答科目マーク欄・解答科目名欄、選択問題番号マーク欄
第1面には、解答する科目に一つマークし、さらにその科目名を記入すること。
第2面の選択問題番号には、試験開始後、解答する問題を決めたあとでマークすること。
- 受験番号、解答する科目名及び選択問題番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。
- 6、7、8 一省 略—

(数学一般は、別冊子である。科目選択に係る注意事項がないので省略。)

昭和61年度大学入学者選抜共通第1次学力試験

志 願 票

〔提出用〕

① 高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入)												②③ 整理番号 (高等学校単位に一連番号を右につめて記入)				②④ 身体障害者 受験特別措置																																															
2												8				9		10		11		12																																									
② 漢字等記入(かい書で丁寧に記入すること。)												④ 性別				⑤ 生年月日																																															
氏												男、女、				昭和 年 月 日生 (明治、大正)																																															
③ カタカナ記入(姓と名の間は、1コマをあげ、濁点及び半濁点は1コマとする。)												⑥ 年号				年 月 日																																															
33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50												M 明治				T 大正				S 昭和																																											
51												52				53				54				55				56				57				58																											
⑦ (郵便番号) (都道府県名) (郡・市名)												□□□□ - □□				(区・町村名)				(町・丁目・番地・団地・棟・号)				(方)																																							
⑧ 漢字等記入 <small>(高等学校等卒業見込者・通信制課程を除く)は、記入を要しない。</small>												⑨ 都道府県名				郡・市・区・町村				町・丁目・番地・団地・棟・号・方等				(1コマに1字ずつ記入し、濁点及び半濁点は1コマとして使用する。)																																							
⑩ 連絡電話番号												□□□□□□□□□□				□□□□□□□□□□				□□□□□□□□□□				□□□□□□□□□□																																							
出 願 資 格												⑪ 課 程				⑫ 学 科				⑬ 卒業見込・卒業の別				⑭ 卒業した年				⑮ 高等学校卒業者以外																																			
169												170				171				172				173				174																																			
受 験 申 請 科 目												⑯ 新教育課程履修者				⑰ 旧教育課程履修者				⑳ 第1志望				㉑ 第2志望																																							
⑯ 1 工業数理												⑰ 2 簿記会計I・II				⑱ 3 数学一般				㉒ 4 基礎理科				大学・学部コード				大学・学部コード																																			
175												176				177				178				179				180				181				182				183				184				185				186				187				188			
⑳ 出身学校名												都 道 府 県				国 立 公 立 私 立				高 等 学 校 学 校																																											

(注) 記入に当たっては、12、13ページの記入上の注意、14ページの志願票の記入例を参照すること。

キリトリ線

折らずに封筒に入れること。

※ 検定料「納付書・領収証書」のほり付け欄

納付書・領収証書(領収印のあるもの)の裏面(全面)に「のり」をつけて、はがれないようにはり付けること。

見本(記入例)

領収済通知書		国庫金	
(納入者) ※ 住所	No. 0650688	昭和60年度 国立学校特別会計(025)	文部省所管
※ フリガナ 氏名		取扱序名 大学入試センター (5530)	入学料及検定料
※ 高等学校等コード		授業料及入学検定料	入学料及検定料
納付金額	10000	納付金額	10000
納付目的 共通第1次学力試験検定料		納付金額	10000
納付期限 昭和60年11月8日限り		納付金額	10000
〒153 東京都目黒区駒場2-19-23 大学入試センター管理部会計課長 〒152 東京都目黒区目黒本町1-15-16 目黒郵便局		納付金額	10000

上記の金額を領収しました。(領収日付印)

3 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消し、訂正すること。

〒目七番二号

| 事業課 行

書留引受番号

留

通第一次学力試験 願書類在中

住所	〒
氏名	
出願資格 (該当する資格を ○で囲むこと。 高等学校等 高校卒業 大検・外国・指定・認定 在外・高専 3年	
志願者	


高等学校等卒業見込者は、高等学校等を経由して出願することになっているので、この封筒を使用して個人で提出してはいけません。

※ 検定料「納付書・領収証書」のはり付け欄

納付書・領収証書(領収印のあるもの)の裏面(全面)に「のり」をつけて、はかれないようにはり付けること。

見本(記入例)

検定料納付方法は
5、7ページ参照

納付書・領収証書		国庫金	
(納入者) ※ 住所 神奈川県横浜市緑区青葉台2丁目 19-23 青葉荘 3号室 ※ フリガナ アオバ イタロウ 氏名 青葉 一郎 殿 ※ 高等学校等コード 14257E	NO00000000 国立学校特別会計(025) 文部省所管 取扱い名 大学入試センター (5530) 授業料及入学検定料 授業料及入学検定料 入学料及検定料 納付金額 1 0 千 0 百 0 十 0 円 納付目的 共通第1次学力試験検定料 納付期限 昭和60年11月8日限り 納付場所 日本銀行本店、支店、代理店 又は 歳入代理店 郵便局 (領収日付印) 		

注意
1. 納付金額を納付するときは、裏印のところに明りよりに記入し、納付書裏面に納付して下さい。なお、高等学校等コードは、受験案内に
2. 納付期限後に納付するときは、必ず領収証書を受け取って下さい。
3. 納付したときは、必ず領収証書を受け取って下さい。

◎ この納付書は、3枚1組の複写式となっていますから、3枚とも納付場所に提出して下さい。

- (注) 1 検定料の納付書が、納付書・領収証書、領収控、領収済通知書の3枚1組であること及び納入者欄の番号が3枚とも同一であることを確認すること。
 2 納付書に、住所、入学志願者の氏名(フリガナ)、高等学校等コード(42~60ページ参照)を、黒又は青のボールペンで正確に記入すること。
 3 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消し、訂正すること。

丁目七番二号

事業課 行

書留引受番号

住所	〒
氏名	
出願資格 (該当する資格を ○で囲むこと。)	3年 高専 在外指定・認定 大検・外国・指定 卒業
志願者	高等学校等 出願者

通第一次学力試験
願書類在中

高等学校等卒業見込者又は、高等学校等を出願する者には、出願書に提出する個人用印筒を使用し、この封筒をこの封筒に入れて提出して下さい。

郵便局の窓口で書留扱いにして送付すること。
郵便ポストに投函してはいけない。
〔「書留郵便物受領証」を保管しておくこと。〕

000-0000

東京中央郵便局留置

東京都千代田区丸の内二丁目七番二号

大学入試センター事業課 行

書留

切手 470円
をはり付け
ること。
(50gまで)

共通第一次学力試験
出願書類在中

書留引受番号

〒住所

※

(「こくやうのしぎふを「証受物郵便留思置」
「書留郵便留思置」
。いなきいわつて「函投」にトリスボ郵便留
。そとも採つて「留思置」の窓の留郵便留

1000-□□

東京中央郵便局留置

東京都千代田区丸の内二丁目七番二号

切手 470円
をほり付け
ること。
(50gまで)

書留

大学入試センター事業課 行

共通第一次学力試験
出願書類 在中

書留引受番号

住所	〒
氏名	
出願資格 (該当する資格を) (〇で囲むこと。) 高等学校等 コ	高校・大検・外国・指定・認定・在外・高専 卒業
志願者	

(高等学校等卒業見込者は、高等学校等を経由して出願することになっている)
ので、この封筒を使用して個人で提出してはいけません。

	次の書類が同封されているか確認の上、発送すること。	確認欄
①	昭和61年度共通第1次学力試験志願票	
②	検定料納付済の領収証書 (志願票の裏の所定欄にはり付けること。)	
③	高等学校卒業証明書 又は 高等学校以外の学校等の修了(見込み)証明書	
④	単位修得証明書 (「工業数理」「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」「数学一般」「基礎理科」を選択解答する者)	
⑤	大学入学資格検定合格証書の写又は合格証明書(大学入学資格検定合格者) 又は 昭和60年度大学入学資格検定受検出席票等(大学入学資格検定合格見込者)	
⑥	身体障害者受験特別措置申請書(該当者)	
⑦	協議書(該当者)	

(注) この封筒は1名分のみとし、2名以上を封入しないこと。

② 解答用紙の様式(見本)

数学 解答用紙・第1面

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークせよ。

受験番号				
千位	百位	十位	一位	英字
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0

氏名(フリガナ、試験場コードを記入せよ。)

フリガナ		試験場コード				
氏名		万位	千位	百位	十位	一位
		0	0	0	0	0

解答する科目に一つマークし、さらにその科目名を記入せよ。

解答科目マーク				解答科目名
数学II	工業数理	簿記会計I	数学一般	
0	0	0	0	

1	2	3																											
解答欄										解答欄										解答欄									
- ± 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 *										- ± 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 *										- ± 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 *									
ア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ア	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	イ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	イ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	エ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	エ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	オ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	オ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	キ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	キ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ケ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ケ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ケ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	コ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	コ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	サ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	サ	0	0	0	0	0	0	0	0	0

以下略

※ 数学I及び数学一般(問題①~③)の解答には、この第1面を使用すること。

数学 解答用紙・第2面

「数学II」及び「数学一般」の解答には、符号 + を使わないこと。

「工業数理」の解答には、記号 * を使わないこと。

「簿記会計」の解答には、符号 +、-、± を使わないこと。

この欄で解答する問題番号に一つマークせよ。

4	5	6
0	0	0

この欄で解答する問題番号に一つマークせよ。

4	5	6
0	0	0

解答欄															解答欄														
+ - ± 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 a b c *															+ - ± 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 a b c *														
ア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
イ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	イ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
エ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	エ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
オ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	オ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
カ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
キ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	キ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ケ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ケ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

以下略

※ 数学II、工業数理、簿記会計I・II及び数学一般(問題④~⑥)の解答には、この第2面を使用すること。

33

外国語

① 問題冊子の注意事項(抜粋)

外国語 (200点 100分)
「英語」「ドイツ語」「フランス語」のうちから1科目を選択し、解答せよ。

注意事項

- 1 一省 略—
- 2 出題科目、ページは、下表のとおりである。

出題科目	英 語	ドイツ語	フランス語
ページ	～	～	～

- 3 一省 略—
- 4 監督者の指示に従って、解答用紙の下記の該当欄にそれぞれ正しく記入し、マークせよ。

① 受験番号欄

受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。

② 氏名欄、試験場コード欄

氏名(フリガナ)及び試験場コード(数字及び英字)を記入すること。

③ 解答科目マーク欄・解答科目名欄

解答する科目に一つマークし、さらにその科目名を記入すること。

- 5 受験番号及び解答する科目名が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。

- 6、7、8 一省 略—

② 解答用紙の様式(見本)

外国語 解答用紙

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークせよ。

氏名(フリガナ)、試験場コードを記入せよ。

解答する科目に一つマークし、さらにその科目名を記入せよ。

受 験 番 号					フリガナ					試 験 場 コー ド					解 答 科 目 マー ク			解 答 科 目 名	
十位	百位	十位	一位	英字	氏 名					万位	千位	百位	十位	一位	英字	英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	
0	0	0	0	0						0	0	0	0	0	0	0	0		

解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	以下略										
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	以下略																					

国 語

① 問題冊子の注意事項

国語は、科目選択がないので省略。

② 解答用紙の様式(見本)

国語 解答用紙

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークせよ。

氏名(フリガナ)、試験場コードを記入せよ。

受 験 番 号					フリガナ					試 験 場 コー ド					
十位	百位	十位	一位	英字	氏 名					万位	千位	百位	十位	一位	英字
0	0	0	0	0						0	0	0	0	0	

解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	以下略										

(3) 追試験の受験申請

ア 疾病・負傷により全教科を受験できない者は、本人又は代理人が受験票及び区部の試験書を持参の上、昭和61年1月24日(金)午前9時から午後5時(それより後の受験等によりやむを得ない場合は、1月25日(土)午前8時から午前9時)までに、受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学に出頭して申請すること。

イ 交通事故又は災害等により、全教科又は1日分の教科の試験を受験できない者は、

- ① 本人又は代理人が事故の状況等を、直ちに、受験票に記載された「試験当日の電話」により、試験場に連絡すること。
- ② 試験場の係員の指示により、受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学に申請すること。

この申請の受付は、当日の試験終了時までとする。

この場合、可能な限り受験票を持参の上、出頭して申請すること。

(4) 追試験の受験許可等

受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学は、申請に基づき審査の上、追試験受験の可否を速やかに決定し、申請者に対し必要な事項を通知する。

13 資料の発表

① 大学入試センターは、昭和61年度大学入学者選抜共通第1次学力試験に関する資料を、報道機関を通じて次のとおり発表する。

ただし、試験の個人別成績は、発表しない。

発表期日	発表内容
昭和61年1月上旬まで	入学志願者の志望する大学・学部等の志望状況
1月27日(月)	試験問題、正解等
2月7日(金)まで	試験実施結果の概要等の中間発表
2月17日(月)以降	試験実施結果の概要等の最終発表

② 氏名欄、試験場コード欄

氏名(フリガナ)及び試験場コード(数字及び英字)を記入すること。

③ 解答科目マーク欄・解答科目名欄

解答する科目に一つマークし、さらにその科目名を記入すること。

5 受験番号及び解答する科目名が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。

6、7、8 一省 略

② 解答用紙の様式(見本)

14 再試験・追試験

(1) 再試験の実施

ア 再試験は、雪・地震等による災害その他の事情により、昭和61年1月25日(土)、26日(日)に共通第1次学力試験を実施できなかった場合に実施する。

イ 再試験の実施期日は、昭和61年2月1日(土)、2日(日)とし、当日の実施が不可能な場合は、この期日より後にできるだけ速やかに実施する。

(2) 追試験の実施

ア 追試験は、疾病・負傷により全教科の試験を受験できない者及び交通事故又は災害等により、全教科又は1日分の教科の試験を受験できない者を対象として行う。

イ 追試験は、昭和61年2月1日(土)、2日(日)の2日間にわたり行う。ただし、(1)の再試験をこの期日より後に実施する必要がある場合は、再試験と同一の期日に実施する。

ウ 追試験の試験時間、出題教科・科目等は、本試験に準ずる。

エ 追試験の試験場は、全国を2地区に分け、地区ごとに1か所設定する。

なお、詳細は「受験者心得」に明示する。

(3) 追試験の受験申請

ア 疾病・負傷により全教科を受験できない者は、本人又は代理人が受験票及び医師の診断書を持参の上、昭和61年1月24日(金)午前9時から午後5時(それより後の発病等によりやむを得ない場合は、1月25日(土)午前8時から午前9時)までに、受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学に出頭して申請すること。

イ 交通事故又は災害等により、全教科又は1日分の教科の試験を受験できない者は、

① 本人又は代理人が事故の状況等を、直ちに、受験票に記載された「試験当日の電話」により、試験場に連絡すること。

② 試験場の係員の指示により、受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学に申請すること。

この申請の受付は、当日の試験終了時までとする。

この場合、可能な限り受験票を持参の上、出頭して申請すること。

(4) 追試験の受験許可等

受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学は、申請に基づき審査の上、追試験受験の可否を速やかに決定し、申請者に対し必要な事項を通知する。

15 身体に障害のある入学志願者及び不慮の事故等による負傷者等

に対する試験実施の際の受験特別措置及び志望大学との協議

(1) 試験実施の際の受験特別措置

ア 身体に障害のある入学志願者の受験特別措置

(ア) 試験の実施に際し、身体に障害のある入学志願者に対して、障害の種類・程度に応じて、申請に基づき審査の上、受験特別措置を行う。

この措置する事項は、39、40ページの表のとおりとする。
この措置について疑問がある場合は、出願受付前に大学入試センター事業課まで問い合わせること。

(イ) 受験特別措置を希望する入学志願者は、**志願票等の所定の出願書類に「身体障害者受験特別措置申請書」を添付して、提出すること。**

なお、「身体障害者受験特別措置申請書」の用紙は、「**受験案内別冊**」（身体障害者受験特別措置を希望する者用）に折り込んであるので、下記により、その別冊を大学入試センターに請求すること。

- ① 「**受験案内別冊**」の請求は、郵便はがき又は電話によりできるだけ早く行うこと。
- ② 郵便はがきにより請求する場合は、はがきの表面に「**受験案内別冊請求**」と朱書き、氏名（フリガナ）、現住所、連絡電話番号、在学（又は出身）学校名等を記入して次のあて先に送付すること。

あて先

〒153 東京都目黒区駒場2丁目19-23

大学入試センター事業課

問い合わせ専用電話 03(465)8600

(平日 9時30分から17時まで、土曜日 9時30分から12時まで)

イ 出願受付締切後の不慮の事故等による負傷者等の受験特別措置

(ア) 出願受付締切後の不慮の事故等による負傷者等が特別の受験措置を希望する場合には、審査の上、身体に障害のある入学志願者に準じた受験特別措置を行う。

(イ) 本人又は代理人が受験票及び医師の診断書を持参の上、受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学に出頭して申請すること。

身体に障害のある入学志願者の受験特別措置事項

障害の種類	措置区分	問題冊子の種類	解答方法	試験時間	措置する事項
1 視覚障害	ア	点字問題冊子	点字による解答	1.5倍	<ul style="list-style-type: none"> 点字用解答用紙の準備 レーザーライターの準備 別室を設定 点字器等の持参使用
	イ	点字問題冊子	文字による解答	1.5倍	<ul style="list-style-type: none"> 文字解答用紙の準備 別室を設定
	ウ	拡大文字問題冊子 (一般試験問題冊子と併用)	文字による解答	一般入学志願者と同じ	<ul style="list-style-type: none"> 文字解答用紙の準備 別室を設定 必要に応じて照明器具の準備 必要に応じて窓側の明るい座席を指定 必要に応じて拡大鏡等の持参使用許可
	エ	拡大文字問題冊子 (一般試験問題冊子と併用)	一般入学志願者と同じ	一般入学志願者と同じ	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて照明器具の準備 必要に応じて窓側の明るい座席を指定 必要に応じて拡大鏡等の持参使用許可
	オ	一般試験問題冊子	文字による解答	一般入学志願者と同じ	<ul style="list-style-type: none"> 文字解答用紙の準備 別室を設定 必要に応じて照明器具の準備 必要に応じて窓側の明るい座席を指定 必要に応じて拡大鏡等の持参使用許可
	カ	一般試験問題冊子	一般入学志願者と同じ	一般入学志願者と同じ	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて照明器具の準備 必要に応じて窓側の明るい座席を指定 必要に応じて拡大鏡等の持参使用許可
2 聴覚障害		一般試験問題冊子	一般入学志願者と同じ	一般入学志願者と同じ	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて手話通訳者の付与 必要に応じて座席を前列に指定 必要に応じて補聴器の持参使用許可

障害の種類	措置区分	問題冊子の種類	解答方法	試験時間	措置する事項
3 肢体不自由	ア	一般試験問題冊子	チェックによる解答	一般入学志願者と同じ	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック解答用紙の準備 ・別室を設定 ・必要に応じて介助者の付与 ・必要に応じて試験室を一階に設定 ・必要に応じて特製機の準備 ・必要に応じて車椅子の持参使用許可 ・必要に応じて松葉杖の持参使用許可 ・必要に応じて洋式トイレに近接する試験室に指定
					<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて介助者の付与 ・必要に応じて試験室を一階に設定 ・必要に応じて別室を設定 ・必要に応じて特製機の準備 ・必要に応じて車椅子の持参使用許可 ・必要に応じて松葉杖の持参使用許可 ・必要に応じて洋式トイレに近接する試験室に指定
	イ	一般試験問題冊子	一般入学志願者と同じ	一般入学志願者と同じ	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて介助者の付与 ・必要に応じて試験室を一階に設定 ・必要に応じて別室を設定 ・必要に応じて特製機の準備 ・必要に応じて車椅子の持参使用許可 ・必要に応じて松葉杖の持参使用許可 ・必要に応じて洋式トイレに近接する試験室に指定
4 病弱		一般試験問題冊子	一般入学志願者と同じ	一般入学志願者と同じ	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて介助者の付与 ・必要に応じて別室を設定 ・必要に応じて洋式トイレに近接する試験室に指定

- (注) 1 点字による出題は、一般の入学志願者の試験問題を基本とする。
2 視覚障害者に対する拡大文字問題冊子の文字の拡大率は、一般試験問題の文字の約1.4倍（面積倍率2倍）とする。
3 解答方法のうち「文字による解答」及び「チェックによる解答」には、下書き用紙を数学と理科について、5枚ずつ配付する。

(4) 本人又は代理人が受験票及び医師の診断書を持参の上、受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学に出頭して申請すること。

(2) 志望大学との協議及び協議書の提出

- ア 身体に障害のある入学志願者で下表に該当するものは、大学・学部等において修学上特別な配慮を必要とすることが起こり得るので、**あらかじめ志望する大学と協議を行い、その協議結果（協議中を含む。）の文書（大学から交付されたもので様式を問わない。）を出願書類に添付して提出すること。**
- イ 志望する大学との協議については、**遅くとも昭和60年10月15日(火)までに当該大学に連絡することが望ましい。**
- ウ 第2次試験の出願に際して志望する大学・学部等を変更する可能性のある者は、出願する可能性がある大学に対しても、協議をしておくことが望ましい。
- エ 高等学校等を卒業した者は、出願に当たって出身学校長と相談することが望ましい。

志望大学との協議を必要とする者の身体障害の程度

区分	身体障害の程度
盲者 (強度の弱視者を含む。)	<ol style="list-style-type: none"> 1 両眼の矯正視力が0.1未満のもの 2 両眼の矯正視力が0.1以上0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち、点字による教育を必要とするもの又は将来点字による教育を必要とすることとなると認められるもの
聾者 (強度の難聴者を含む。)	<ol style="list-style-type: none"> 1 両耳の聴力損失が90デシベル以上のもの 2 両耳の聴力損失が90デシベル未満50デシベル以上のものうち、補聴器の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	<ol style="list-style-type: none"> 1 体幹の機能の障害が、体幹を支持することが不可能又は困難な程度のもの 2 上肢の機能の障害が、筆記をすることが不可能又は困難な程度のもの 3 下肢の機能の障害が、歩行をすることが不可能又は困難な程度のもの 4 前3号に掲げるもののほか、肢体の機能の障害がこれらと同程度以上のもの 5 肢体の機能の障害が前各号に掲げる程度に達しないものうち、6月以上の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者 (身体虚弱者を含む。)	<ol style="list-style-type: none"> 1 慢性の胸部疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が6月以上の医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が6月以上の生活規制を必要とする程度のもの

(学校教育法施行令第22条の2の規定に準拠した。)

コード表

1 高等学校等コード表

(1) 高等学校、盲・聾及び養護学校、高等専門学校

Table of school codes for Hokkaido, including categories like 国立 (National), 公立 (Public), and 私立 (Private), with columns for school names and their respective codes.

Table of school codes for Aomori, Iwate, and Akita Prefectures, including categories like 国立 (National), 公立 (Public), and 私立 (Private), with columns for school names and their respective codes.

Table listing schools in Aomori Prefecture (青森県) and Yamagata Prefecture (山形県), including school names, types, and codes.

Table listing schools in Fukushima Prefecture (福島県), including school names, types, and codes.

Table listing schools in Iwate Prefecture (岩手県), including school names, types, and codes.

Table listing schools in Miyagi Prefecture (宮城県), including school names, types, and codes.

Table listing schools in Chiba Prefecture (千葉県), including school names, types, and codes.

Table listing schools in Tokyo Prefecture (東京都), including school names, types, and codes.

Table listing schools in Kanagawa Prefecture (神奈川県), including school names, types, and codes.

Table listing schools in Saitama Prefecture (埼玉県), including school names, types, and codes.

Table listing schools in Chiba Prefecture (千葉県), including school names, types, and codes.

Table listing schools in Tokyo Prefecture (東京都), including school names, types, and codes.

Table listing educational institutions in Chiba Prefecture, including private and public schools, and vocational schools. Columns include school name, address, and phone number.

Table listing educational institutions in Chiba Prefecture, including private and public schools, and vocational schools. Columns include school name, address, and phone number.

Table listing educational institutions in Chiba Prefecture, including private and public schools, and vocational schools. Columns include school name, address, and phone number.

Table listing educational institutions in Chiba Prefecture, including private and public schools, and vocational schools. Columns include school name, address, and phone number.

Table listing educational institutions in Tokyo, including private and public schools, and vocational schools. Columns include school name, address, and phone number.

Table listing educational institutions in Tokyo, including private and public schools, and vocational schools. Columns include school name, address, and phone number.

Table listing educational institutions in Tokyo, including private and public schools, and vocational schools. Columns include school name, address, and phone number.

Table listing educational institutions in Tokyo, including private and public schools, and vocational schools. Columns include school name, address, and phone number.

Table listing educational institutions in Tokyo, including private and public schools, and vocational schools. Columns include school name, address, and phone number.

Table listing educational institutions in Kanagawa Prefecture, including university names, addresses, and phone numbers. Includes sections for '高等専門学校' (National Institute of Advanced Industrial Education) and '神奈川 県' (Kanagawa Prefecture).

Table listing educational institutions in Kanagawa Prefecture, including university names, addresses, and phone numbers. Includes sections for '国立' (National), '公立' (Public), and '私立' (Private) schools.

Table listing educational institutions in Kanagawa Prefecture, including university names, addresses, and phone numbers. Includes sections for '国立' (National), '公立' (Public), and '私立' (Private) schools.

Table listing educational institutions in Kanagawa Prefecture, including university names, addresses, and phone numbers. Includes sections for '国立' (National), '公立' (Public), and '私立' (Private) schools.

Table listing educational institutions in Kanagawa Prefecture, including university names, addresses, and phone numbers. Includes sections for '国立' (National), '公立' (Public), and '私立' (Private) schools.

Table listing educational institutions in Kanagawa Prefecture, including university names, addresses, and phone numbers. Includes sections for '国立' (National), '公立' (Public), and '私立' (Private) schools.

な七尾女子 17508A
ほ北陸大谷 17507C
北陸学院 17501D

(高等専門学校)

か金沢工業高専 17991E
上記以外の高等学校等 17999A

福井県

国立

(盲・聾・養護学校)
ふ福井大学教育学部附 18051D
属養護

(高等専門学校)

ふ福井工業高専 18091C

公立 (高等学校)

あ足羽 18104J
う羽水 18103A
う野水 18112K
か大小工 18113H
か科水産 18125A
か科学術 18107C
か科勝山 18114F
か科山精 18115D
か科金高 18129D
か科坂井 18110C
か科武生 18120A
か科武丹 18119G
か科敦賀 18121J
か科丹江 18122G
か科福井 18117A
か科福井 18105G
か科福井 18106E
か科丸岡 18101D
か科丸岡 18127H
か科丸岡 18123E
か科丸岡 18109K
か科丸岡 18108A
か科丸岡 18124C
か科丸岡 18126K

(盲・聾・養護学校)

ふ福井養護 18453F
も盲北養護 18452H
ろろ 18455B
ろろ 18451K

私立

(高等学校)

し昭英 18505B
し昭愛 18502H
ふ福井工業大附属 18503F
ふ福井女子 18504D
ほ北陸 18501K

山梨県

国立

(盲・聾・養護学校)
や山梨大学教育学部附 19051K
属養護

公立

(高等学校)

い石和 19118D
い市川 19115K
い上野 19136B
い上塩山 19122B
いお大月 19134F
いお大桂 19125G
いお大機 19110J
いお大富 19128A
いお大北 19116H
いお大北 19101K
いお大北 19102H
いお大北 19109E
いお大北 19133H
いお大北 19137A
いお大北 19106A
いお大北 19129K
いお大北 19130C
いお大北 19107J
いお大北 19135D
いお大北 19113C
いお大北 19138J
いお大北 19103F
いお大北 19108G
いお大北 19111G
いお大北 19123A
いお大北 19104D
いお大北 19105B
いお大北 19112E
いお大北 19120F
いお大北 19131A
いお大北 19114A
いお大北 19117F
いお大北 19121D
いお大北 19119B
いお大北 19124J
いお大北 19126E
いお大北 19127C

(盲・聾・養護学校)

ああけの 19454K
ああけの 19453A
ああけの 19451E
ああけの 19456F
ああけの 19452C
ああけの 19455H

私立

(高等学校)

こ甲府 19502C
こ甲府 19504K
こ甲府 19508B
こ甲府 19506F
こ甲府 19510D
こ甲府 19507D
こ甲府 19509A
こ甲府 19503A
こ甲府 19501E
こ甲府 19505H

長野県

国立

(盲・聾・養護学校)
し信州大学教育学部附 20051E
属養護

(高等専門学校)

な長野工業高専 20091D

公立

(高等学校)

あ赤穂 20157A
あ阿智 20171F
あ阿智 20164C
あ阿智 20165A
あ阿智 20159G
あ阿智 20162G
あ阿智 20161J
あ阿智 20160A
あ阿智 20102C
あ阿智 20101E
あ阿智 20103A
あ阿智 20181C
あ阿智 20155D
あ阿智 20156B
あ阿智 20138D
あ阿智 20127J
あ阿智 20128G
あ阿智 20126A
あ阿智 20129E
あ阿智 20141D
あ阿智 20182A
あ阿智 20183K
あ阿智 20150C
あ阿智 20148A
あ阿智 20149K
あ阿智 20153H
あ阿智 20111B
あ阿智 20136H
あ阿智 20188A
あ阿智 20169D
あ阿智 20137F
あ阿智 20142B
あ阿智 20158J
あ阿智 20135K
あ阿智 20134A
あ阿智 19119B
あ阿智 19124J
あ阿智 19126E
あ阿智 19127C

(盲・聾・養護学校)

ああけの 19454K
ああけの 19453A
ああけの 19451E
ああけの 19456F
ああけの 19452C
ああけの 19455H

私立

(高等学校)

こ甲府 19502C
こ甲府 19504K
こ甲府 19508B
こ甲府 19506F
こ甲府 19510D
こ甲府 19507D
こ甲府 19509A
こ甲府 19503A
こ甲府 19501E
こ甲府 19505H

(盲・聾・養護学校)

い伊那 20458H
い伊那 20456A
い伊那 20459F
い伊那 20455C
い伊那 20452J
い伊那 20451A
い伊那 20454E
い伊那 20457K
い伊那 20453G

私立

(高等学校)

い飯田 20512F
い飯田 20517G
い飯田 20511H
い飯田 20516J
い飯田 20504E
い飯田 20518E
い飯田 20506A
い飯田 20515A
い飯田 20508H
い飯田 20507K
い飯田 20510K
い飯田 20509F
い飯田 20501A
い飯田 20502J
い飯田 20505C
い飯田 20514B

岐阜県

ああけの 19454K
ああけの 19453A
ああけの 19451E
ああけの 19456F
ああけの 19452C
ああけの 19455H

国立

(高等専門学校)

き岐阜工業高専 21091K

公立

(高等学校)

あ阿木 21170C
あ阿木 21151G
あ阿木 21182G
あ阿木 21118E
あ阿木 21150J
あ阿木 21148G
あ阿木 21155K
あ阿木 21149E
あ阿木 21119C
あ阿木 21124K
あ阿木 21123A
あ阿木 21125H
あ阿木 21169K
あ阿木 21177A
あ阿木 21172C
あ阿木 21122C
あ阿木 21121E
あ阿木 21120G
あ阿木 21507E
あ阿木 21508C
あ阿木 21504A
あ阿木 21175D
あ阿木 21111H

私立

あ阿木 21168A
あ阿木 21172D
あ阿木 21141K
あ阿木 21105C
あ阿木 21172K
あ阿木 21135E
あ阿木 21165G
あ阿木 21104E
あ阿木 21109F
あ阿木 21101A
あ阿木 21174F
あ阿木 21102J
あ阿木 21117G
あ阿木 21166E
あ阿木 21108H
あ阿木 21112F
あ阿木 21106A
あ阿木 21110K
あ阿木 21114B
あ阿木 21179G
あ阿木 21107K
あ阿木 21130D
あ阿木 21129A
あ阿木 21138K
あ阿木 21166E
あ阿木 21160F
あ阿木 21162B
あ阿木 21142H
あ阿木 21143F
あ阿木 21144D
あ阿木 21134G
あ阿木 21132A
あ阿木 21139H
あ阿木 21140A
あ阿木 21176B
あ阿木 21147J
あ阿木 21152E
あ阿木 21154A
あ阿木 21171A
あ阿木 21103G
あ阿木 21173H
あ阿木 21159B
あ阿木 21161D
あ阿木 21164J
あ阿木 21126F
あ阿木 21158D
あ阿木 21157F
あ阿木 21161B
あ阿木 21131B
あ阿木 21133D
あ阿木 2113
あ阿木 21115A
あ阿木 21127D
あ阿木 21163A

(盲・聾・養護学校)

い伊那 20458H
い伊那 20456A
い伊那 20459F
い伊那 20455C
い伊那 20452J
い伊那 20451A
い伊那 20454E
い伊那 20457K
い伊那 20453G

私立

(高等学校)

い飯田 20512F
い飯田 20517G
い飯田 20511H
い飯田 20516J
い飯田 20504E
い飯田 20518E
い飯田 20506A
い飯田 20515A
い飯田 20508H
い飯田 20507K
い飯田 20510K
い飯田 20509F
い飯田 20501A
い飯田 20502J
い飯田 20505C
い飯田 20514B

(盲・聾・養護学校)

あ阿木 21170C
あ阿木 21151G
あ阿木 21182G
あ阿木 21118E
あ阿木 21150J
あ阿木 21148G
あ阿木 21155K
あ阿木 21149E
あ阿木 21119C
あ阿木 21124K
あ阿木 21123A
あ阿木 21125H
あ阿木 21169K
あ阿木 21177A
あ阿木 21172C
あ阿木 21122C
あ阿木 21121E
あ阿木 21120G
あ阿木 21507E
あ阿木 21508C
あ阿木 21504A
あ阿木 21175D
あ阿木 21111H

私立

(高等学校)

う鶯谷 21501F
う鶯谷 21510E
う鶯谷 21507E
う鶯谷 21508C
う鶯谷 21504A
う鶯谷 21505J
う鶯谷 21509A

静岡県

字附属 21503B
せ聖マリア 21506G
た高治 21515F
ち中富 21512A
み麗沢 21514H
れ麗沢 21515C
れ麗沢 21513K

上記以外の高等学校等 21999B

静岡県

国立

(盲・聾・養護学校)
し静岡大学教育学部附 22051F
属養護

(高等専門学校)

ぬ沼津工業高専 22091E

公立

ああけの 22107E
ああけの 22179B
ああけの 22156C
ああけの 22192K
ああけの 22105J
ああけの 22106G
ああけの 22198J
ああけの 22180F
ああけの 22104A
ああけの 22197A
ああけの 22166A
ああけの 22168G
ああけの 22167J
ああけの 22105J
ああけの 22109A
ああけの 22155E
ああけの 22204G
ああけの 22154G
ああけの 22153J
ああけの 22152A
ああけの 22140G
ああけの 22139C
ああけの 22157A
ああけの 22149A
ああけの 22123G
ああけの 22124E
ああけの 22186E

(盲・聾・養護学校)

し静岡 22457A
せ西 22460A
せ中 22459G
て天 22451A
て東 22458J
ぬ沼津 22455D
は浜松 22453H
は浜松 22456B

私立

(高等学校)

い警備 22531C
おオ 22543G
おオ 22508J
おオ 22507A
おオ 22532A
おオ 22544E
おオ 22501A
おオ 22517H
おオ 22524A
おオ 22523B
おオ 22536D
おオ 22510A
おオ 22519D
おオ 22518F

静岡県

て天竜 22163F
と土肥 22108C
と土肥 22203J
と土肥 22111C
と土肥 22121A
と土肥 22122J
と土肥 22185G
と土肥 22119J
と土肥 22118A
と土肥 22120B
と土肥 22127A
と土肥 22150D
と土肥 22193H
と土肥 22178D
と土肥 22202A
と土肥 22169E
と土肥 22175K
と土肥 22172E
と土肥 22200D
と土肥 22177F
と土肥 22190C
と土肥 22183A
と土肥 22176H
と土肥 22170J
と土肥 22173C
と土肥 22171G
と土肥 22195D
と土肥 22160A
と土肥 22161K
と土肥 22125C
と土肥 22143A
と土肥 22142C
と土肥 22141E
と土肥 22127K
と土肥 22196B
と土肥 22128H
と土肥 22126A
と土肥 22191A
と土肥 22162H
と土肥 22103B
と土肥 22114H
と土肥 22113K
と土肥 22182B
と土肥 22158K
と土肥 22140G
と土肥 22139C
と土肥 22157A
と土肥 22149A
と土肥 22123G
と土肥 22124E
と土肥 22186E

静岡県

国立

(盲・聾・養護学校)

し静岡大学教育学部附 22051F
属養護

(高等専門学校)

ぬ沼津工業高専 22091E

公立

ああけの 22107E
ああけの 22179B
ああけの 22156C
ああけの 22192K
ああけの 22105J
ああけの 22106G
ああけの 22198J
ああけの 22180F
ああけの 22104A
ああけの 22197A
ああけの 22166A
ああけの 22168G
ああけの 22167J
ああけの 22105J
ああけの 22109A
ああけの 22155E
ああけの 22204G
ああけの 22154G
ああけの 22153J
ああけの 22152A
ああけの 22140G
ああけの 22139C
ああけの 22157A
ああけの 22149A
ああけの 22123G
ああけの 22124E
ああけの 22186E

(盲・聾・養護学校)

し静岡 22457A
せ西 22460A
せ中 22459G
て天 22451A
て東 22458J
ぬ沼津 22455D
は浜松 22453H
は浜松 22456B

私立

(高等学校)

い警備 22531C
おオ 22543G
おオ 22508J
おオ 22507A
おオ 22532A
おオ 22544E
おオ 22501A
おオ 22517H
おオ 22524A
おオ 22523B
おオ 22536D
おオ 22510A
おオ 22519D
おオ 22518F

静岡県

静岡 22516K
静岡 22525J
静岡 22512G
静岡 22520H
静岡 22529A
静岡 22511J
静岡 22535F
静岡 22534H
静岡 22527E
静岡 22509G
静岡 22539J
静岡 22514C
静岡 22513E
静岡 22541A
静岡 22521F
静岡 22520E
静岡 22522D
静岡 22504F
静岡 22538A
静岡 22540B
静岡 22505D
静岡 22537B
静岡 22533K
静岡 22538A
静岡 22528C
静岡 22542J
静岡 22502K
静岡 22503H
静岡 22526G

静岡県

国立

(盲・聾・養護学校)

ああけの 22951C
ああけの 22952H

静岡県

ああけの 22951C
ああけの 22952H

静岡県

ああけの 22951C
ああけの 22952H

静岡県

ああけの 22951C
ああけの 22952H

静岡県

ああけの 22951C
ああけの 22952H

静岡県

ああけの 22951C
ああけの 22952H

静岡県

ああけの 22951C
ああけの 22952H

静岡県

ああけの 22951C
ああけの 22952H

静岡県

ああけの 22951C
ああけの 22952H

静岡県

ああけの 22951C
ああけの 22952H

静岡県

ああけの 22951C
ああけの 22952H

静岡県

静岡 23150K
静岡 23134H
静岡 23249B
静岡 23139J
静岡 23194A
静岡 23165H
静岡 23159C
静岡 23266B
静岡 23189E
静岡 23190J
静岡 23192E
静岡 23193C
静岡 23273E
静岡 23191G
静岡 23157G
静岡 23148H
静岡 23253A
静岡 23124A
静岡 23262K
静岡 23126G
静岡 23125J
静岡 23246H
静岡 23155A
静岡 23203D
静岡 23176C
静岡 23177A
静岡 23178K
静岡 23179H
静岡 23219A
静岡 23220D
静岡 23230A
静岡 23147K
静岡 23233F
静岡 23123B
静岡 23187J
静岡 23211E
静岡 23234D
静岡 23235B
静岡 23195K
静岡 23258A
静岡 23231K
静岡 23225E
静岡 23137B
静岡 23138A
静岡 23259K
静岡 23198D
静岡 23158E
静岡 23232H
静岡 23199B
静岡 23154B
静岡 23106B
静岡 23107A
静岡 23208E
静岡 23209C
静岡 23213A
静岡 23104F
静岡 23222A
静岡 23122D
静岡 23236A
静岡 23130E
静岡 23272G
静岡 23245K
静岡 23131C
静岡 23151H
静岡 23175E
静岡 23205A
静岡 23172A
静岡 23212F
静岡 23242E
静岡 23103H
静岡 23171B
静岡 23267A
静岡 23240J
静岡 23180A
静岡 23252B
静岡 23149F

静岡県

国立

(盲・聾・養護学校)

ああけの 23470C
ああけの 23461D
ああけの 23456H
ああけの 23455K
ああけの 23462B
ああけの 23452E
ああけの 23463A
ああけの 23457F

静岡県

ああけの 23470C
ああけの 23461D
ああけの 23456H
ああけの 23455K
ああけの 23462B
ああけの 23452E
ああけの 23463A
ああけの 23457F

静岡県

ああけの 23470C
ああけの 23461D
ああけの 23456H
ああけの 23455K
ああけの 23462B
ああけの 23452E
ああけの 23463A
ああけの 23457F

静岡県

ああけの 23470C
ああけの 23461D
ああけの 23456H
ああけの 23455K
ああけの 23462B
ああけの 23452E
ああけの 23463A
ああけの 23457F

静岡県

Table listing educational institutions in Osaka Prefecture, categorized by type (Public, Private, Vocational, etc.) and region (Osaka City, Sakai, etc.).

Table listing educational institutions in Hyogo Prefecture, categorized by type (Public, Private, Vocational, etc.) and region (Kobe, Hyogo City, etc.).

Table listing educational institutions in Kyoto Prefecture, categorized by type (Public, Private, Vocational, etc.) and region (Kyoto City, Kyoto Prefecture, etc.).

Table listing educational institutions in Osaka Prefecture, categorized by type (Public, Private, Vocational, etc.) and region (Osaka City, Sakai, etc.).

Table listing educational institutions in Osaka Prefecture, categorized by type (Public, Private, Vocational, etc.) and region (Osaka City, Sakai, etc.).

Table listing educational institutions in Osaka Prefecture, categorized by type (Public, Private, Vocational, etc.) and region (Osaka City, Sakai, etc.).

Table of educational institutions in Aomori Prefecture (青森県). Includes categories like 国立 (National), 公立 (Public), and 私立 (Private), with columns for school name, address, and phone number.

Table of educational institutions in Iwate Prefecture (岩手県). Includes categories like 国立 (National), 公立 (Public), and 私立 (Private), with columns for school name, address, and phone number.

Table of educational institutions in Miyagi Prefecture (宮城県). Includes categories like 国立 (National), 公立 (Public), and 私立 (Private), with columns for school name, address, and phone number.

Table of educational institutions in Fukushima Prefecture (福島県). Includes categories like 国立 (National), 公立 (Public), and 私立 (Private), with columns for school name, address, and phone number.

(2) 外国の学校等、在外教育施設、文部大臣の指定及び大学入学資格検定等

検定	51000K	「検定」とは、大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部大臣が行う大学入学資格検定に合格した者及び昭和61年3月31日までに合格見込みの者
外国	52000E	「外国」とは、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び昭和61年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定したもの
指定	53000A	「指定」とは、文部大臣の指定した者
認定	54000F	「認定」とは、その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
在外指定	55000A	「在外指定」とは、文部大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び昭和61年3月31日までに修了見込みの者

2 大学・学部コード表

(1) 国立大学

大学名	学部名	大学・学部コード	大学名	学部名	大学・学部コード	
北海道大学	文 1 系	10169	群馬大学	教育学部	12312	
	文 2 系	10170		医学部	12328	
	文 3 系	10171		工学部	12338	
	理 1 系	10172	埼玉大学	教養学部	12401	
	理 2 系	10173		教育学部	12412	
	理 3 系	10174		経済学部	12422	
医学進学課程	10128	理学部		12426		
歯学進学課程	10129	工学部		12438		
北海道教育大学	水産系	10175	千葉大学	文学部	12504	
	札幌分校	10212		教育学部	12512	
	函館分校	10312		法経学部	12520	
	旭川分校	10412		理学部	12526	
	釧路分校	10512		薬学部	12528	
岩見沢分校	10612	薬学部		12530		
室蘭工業大学	工学部第1部	10738		看護学部	12532	
	工学部第2部	10796	工学部A	12538		
小樽商科大学	工学部第2部	10796	※工学部B	12596		
	商学部	10824	園芸学部	12546		
帯広畜産大学	畜産学部	10947	東京大学	文科1類	12669	
旭川医科大学	医学部	11028		文科2類	12670	
	北見工業大学	工学部		11138	文科3類	12671
弘前大学		人文学部		11206	理科1類	12672
	教育学部	11212		理科2類	12673	
	理学部	11226		理科3類	12674	
	医学部	11228	医学部	12728		
岩手大学	農学部	11244	歯学部	12729		
	人文社会科学部	11305	東京外国語大学	外国語学部	12814	
	教育学部	11312		東京学芸大学	教育学部	12912
東北大学	工学部	11338	東京農工大学		農学部	13044
	農学部	11344		工学部	13038	
	文学部	11404	東京芸術大学	美術学部	13159	
	教育学部	11411		音楽学部	13162	
法学部	11419	東京工業大学		第1類	13276	
経済学部	11422		第2類	13277		
理学部	11426		第3類	13278		
医学部	11428		第4類	13279		
歯学部	11429		第5類	13280		
薬学部	11430		第6類	13281		
宮城教育大学	工学部	11438	東京商船大学	商船学部	13354	
	農学部	11444		東京水産大学	水産学部	13453
秋田大学	教育学部	11512	お茶の水女子大学		文教育学部	13507
	教育学部	11612		理学部	13526	
	医学部	11628		家政学部	13535	
山形大学	鉱山学部	11652	電気通信大学	電気通信学部	13643	
	人文学部	11706		一橋大学	法学部	13719
	教育学部	11712			社会学部	13715
	理学部	11726	経済学部		13722	
	医学部	11728	商学部	13724		
	工学部A	11738	横浜国立大学	教育学部	13812	
※工学部B	11796	経済学部		13822		
農学部	11744	経営学部第1部		13823		
教育学部	11812	経営学部第2部		13893		
経済学部(社)	11822	工学部第1部		13838		
茨城大学	※経済学部(夜)	11892	工学部第2部	13896		
	人文学部	11906	新潟大学	人文学部	13906	
	教育学部	11912		教育学部	13912	
	理学部	11926		法学部	13919	
工学部	11938	経済学部		13922		
農学部	11944	理学部		13926		
図書館情報大学	図書館情報学部	12083		医学部	13928	
	第1学群	12163	歯学部	13929		
	第2学群	12164	工学部	13938		
	第3学群	12165	農学部	13944		
	医学専門学群	12166	長岡技術科学大学	工学部	14038	
体育専門学群	12167	上越教育大学		学校教育学部	14112	
芸術専門学群	12168		教育学部	12212		
筑波大学	教育学部		12212	工学部	12238	
	工学部	12238	農学部	12244		
	農学部	12244				

※印は主として夜間に授業を行うコース

大学名	学部名	大学・学部コード	大学名	学部名	大学・学部コード	
富山大学	人文学部	14206	京都教育大学	教育学部	16112	
	教育学部	14212		京都工芸繊維大学	工学部	16241
	経済学部	14222	繊維学部		16245	
	理工学部	14226	大阪大学	文学部	16304	
工学部	14238	人間科学部		16303		
富山医科薬科大学	医学部	14328		法学部	16319	
	薬学部	14330		経済学部	16322	
	金沢大学	文学部		14404	理学部	16326
		教育学部		14412	医学部	16328
		法学部		14419	歯学部	16329
		経済学部		14422	歯学部	16330
理学部		14426		工学部	16338	
薬学部		14428		基礎工学部	16339	
福井大学	工学部	14430	大阪外国語大学	外国語学部第1部	16414	
	薬学部	14438		外国語学部第2部	16489	
福井医科大学	教育学部	14512	大阪教育大学	教育学部第1部	16512	
	工学部	14538		教育学部第2部	16588	
山梨大学	医学部	14628	兵庫教育大学	学校教育学部	16612	
	教育学部	14712		神戸大学	文学部	16704
工学部	14738	教育学部	16712			
山梨医科大学	医学部	14828	法学部第1課程		16719	
	信州大学	人文学部	14906		法学部第2課程	16790
教育学部		14912	経済学部第1課程		16722	
経済学部		14922	経済学部第2課程		16792	
理学部		14926	経営学部第1課程		16723	
医学部		14928	経営学部第2課程		16793	
工学部		14938	理学部		16726	
農学部		14944	医学部		16728	
繊維学部		14945	工学部		16738	
岐阜大学		教育学部	15012		農学部	16744
		工学部	15028		神戸商船大学	商船学部
	工学部	15038	奈良教育大学	教育学部		16912
	農学部	15044		文学部	17004	
静岡大学	人文学部	15106	理家学部	17026		
	教育学部	15112	政治学部	17035		
	工学部	15126	和歌山大学	教育学部	17112	
	工学部	15138		経済学部	17122	
農学部	15144	鳥取大学	教育学部	17212		
浜松医科大学	医学部		15228	医学部	17228	
	名古屋大学		文学部	15304	工学部	17238
		教育学部	15311	農学部	17244	
		法学部	15319	島根大学	法文学部	17310
経済学部		15322	教育学部		17312	
理学部	15326	理学部	17326			
工学部	15328	農学部	17344			
工学部	15338	島根医科大学	医学部	17428		
農学部	15344		岡山大学	文学部	17504	
愛知教育大学	教育学部	15412		教育学部	17512	
名古屋工業大学	工学部第1部	15538		法学部第1部	17519	
	工学部第2部	15596		法学部第2部	17590	
豊橋技術科学大学	工学部	15638		経済学部第1部	17522	
	三重大学	人文学部		15706	経済学部第2部	17592
教育学部		15712		理学部	17526	
医学部		15728		医学部	17528	
工学部		15738		歯学部	17529	
農学部		15744		歯学部	17530	
水産学部		15753		工学部	17538	
滋賀大学	教育学部	15812		農学部	17544	
	経済学部	15822		広島大学	総合科学部	17602
滋賀医科大学	医学部	15928	文学部		17604	
	京都大学	文学部	16004		教育学部	17611
教育学部		16011	教育学部		17612	
法学部		16019	法学部第1部		17619	
経済学部		16022	法学部第2部		17690	
理学部		16026	経済学部第1部		17622	
医学部		16028	経済学部第2部		17692	
薬学部		16030	理学部		17626	
工学部		16038	医学部		17628	
農学部		16044	歯学部		17629	
			歯学部		17628	
		工学部	17638			
		生物生産学部	17682			

大学名	学部名	大学・学部コード	大学名	学部名	大学・学部コード
山口大学	人文学部	17706	佐賀大学	教育学部	18912
	教育学部	17712		経済学部	18922
	経済学部	17722		理工学部	18927
	理学部	17726		農学部	18944
	医学部	17728	佐賀医科大学	医学部	19028
	工学部	17738		長崎大学	教育学部
農学部	17744	経済学部	19122		
徳島大学	教育学部	17828	医学部		19128
	医学部	17828	歯学部		19129
	歯学部	17829	薬学部		19130
	薬学部	17830	工学部	19138	
	工学部	17838	水産学部	19153	
鳴門教育大学	学校教育学部	17912	熊本大学	文学部	19204
香川大学	教育学部	18012		教育学部	19212
	法学部	18019		法学部	19219
	経済学部	18022		理学部	19226
	農学部	18044		医学部	19228
香川医科大学	医学部	18128	薬学部	19230	
	工学部	18128	工学部	19238	
愛媛大学	法文学部(昼)	18210	大分大学	教育学部	19312
	※法文学部(夜)	18287		経済学部	19322
	教育学部	18212		工学部	19338
	理学部	18226	大分医科大学	医学部	19428
	医学部	18228		宮崎大学	教育学部
	工学部	18238	工学部		19538
農学部	18244	農学部	19544		
高知大学	人文学部	18306	宮崎医科大学	医学部	19628
	教育学部	18312		鹿児島大学	法文学部
	理学部	18326	教育学部		19712
農学部	18344	理学部	19726		
高知医科大学	医学部	18428	医学部		19728
	福岡教育大学	教育学部	18512		歯学部
九州大学		文学部	18604		歯学部
	教育学部	18611	工学部		19744
	法学部	18619	農学部		19753
	経済学部	18622	鹿屋体育大学		体育学部
	理学部	18626		琉球大学	法文学部
	医学部	18628	教育学部		19912
歯学部	18629	理学部	19926		
歯学部	18630	医学部	19928		
工学部	18638	工学部	19938		
農学部	18644	農学部	19944		
九州芸術工科大学	芸術工学部	18742	九州工業大学	工学部第1部	18838
九州工業大学	工学部第2部	18896		工学部第2部	18896

(注) 徳島大学教育学部については、徳島大学が発表する選抜要項等を参照すること。

(2) 公立大学

大学名	学部名	大学・学部コード	大学名	学部名	大学・学部コード
札幌医科大学	医学部	30128	大阪市立大学	商学部第1部	31924
福島県立医科大学	医学部	30228		商学部第2部	31994
群馬県立女子大学	文学部	30304		経済学部第1部	31922
高崎経済大学	経済学部	30422		経済学部第2部	31992
東京都立大学	人文学部第1部	30506		法学部第1部	31919
	人文学部第2部	30586		法学部第2部	31990
	法学部第1部	30519		文学部第1部	31904
	法学部第2部	30590		文学部第2部	31985
	経済学部第1部	30522		理学部	31926
	経済学部第2部	30592		工学部	31938
	理学部第1部	30526		医学部	31928
	理学部第2部	30595		生活科学部	31937
	工学部第1部	30538	大阪府立大学	工学部	32038
	工学部第2部	30596		農学部	32044
横浜市立大学	商学部	30624		経済学部	32022
	文理学部	30609		総合科学部	32002
	医学部	30628		社会福祉学部	32018
金沢美術工芸大学	美術工芸学部	30761	神戸市外国語大学	外国語学部第1部	32114
都留文科大学	文学部	30804		外国語学部第2部	32189
岐阜薬科大学	薬学部	30930	神戸商科大学	商経学部	32225
静岡女子大学	文学部	31004	姫路工業大学	工学部	32338
	家政学部	31035	奈良県立医科大学	医学部	32428
静岡薬科大学	薬学部	31130	和歌山県立医科大学	医学部	32528
愛知県立大学	文学部	31204	広島女子大学	文学部	32604
	外国語学部	31214		家政学部	32635
	外国語学部第2部	31289	下関市立大学	経済学部	32722
愛知県立芸術大学	美術学部	31359	山口女子大学	文学部	32804
	音楽学部	31362		家政学部	32835
名古屋市立大学	医学部	31428	高知女子大学	家政学部	32935
	薬学部	31430		文学部	32904
	経済学部	31422	北九州大学	外国語学部第1部	33014
京都市立芸術大学	美術学部	31559		外国語学部第2部	33089
	音楽学部	31562		商学部	33024
京都府立大学	文学部	31604		文学部	33004
	生活科学部	31637		法学部	33019
	農学部	31644	九州歯科大学	歯学部	33129
京都府立医科大学	医学部	31728	福岡女子大学	文学部	33204
大阪女子大学	学芸学部	31813		家政学部	33235
			長崎県立国際経済大学	経済学部	33322
			熊本女子大学	文学部	33404
				生活科学部	33437

(3) 私立大学

大学名	学部名	大学・学部コード
産業医科大学	医学部	40128



納付書・領収証書

国庫金

(納入者) No. 0650688
 ※ 住所

 ※ フリガナ
 氏名 殿
 ※ 高等学校等コード

注意

1. 納付金額を納付するときは、※印のところを明りょうに記入し、納付場所に納付して下さい。なお、高等学校等コードは、受験案内に記載されている高等学校等コード表により記入して下さい。
2. 納付期限後に納付することはできません。
3. 納付したときは、必ず領収証書を受け取って下さい。

昭和60年度	国立学校特別会計(025)	文部省所管
取扱庁名 大学入試センター(5530)		
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料
納付金額	万 千 0	百 十 円 0 0 0
納付目的	共通第1次学力試験検定料	上記の金額を領収しました。 (領収日付印)
納付期限	昭和60年11月8日限り	
納付場所	日本銀行本店、支店、代理店 又は歳入代理店 郵便局	

◎ この納付書は、3枚1組の複写式となっていますから、3枚とも納付場所に提出して下さい。

領 収 控

国 庫 金

(納入者)

No. 0650688

※ 住 所

※ フリガナ

氏 名

※ 高等学校等コード

昭和60年度 国立学校特別会計(025) 文部省所管

取扱庁名 大学入試センター(5530)

授業料及入学検定料 授業料及入学検定料 入学料及検定料

納 付 金 額

万 千 百 十 円
1 0 0 0 0

納付目的 共通第1次学力試験検定料

上記の金額を
領収しました。

納付期限 昭和60年11月8日限り

(領収日付印)